

中瀬小学校他2校プール施設改修工事 (中瀬、府中、三訪)

特記	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
		図名	表紙	縮尺	—	图面番号	—
						图面提出日	

中瀬小学校

図面リスト

No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	図面リスト	M-01	特記仕様書
A-01	特記仕様書1	M-02	図示記号・衛生器具表
A-02	特記仕様書2	M-03	平面詳細図 給排水衛生設備
A-03	特記仕様書3		
A-04	配置図兼仮設計画図・付近見取図		
A-05	平面図		
A-06	立面図		
A-07	平面詳細図		
A-08	断面詳細図		

計画	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事	図名 (中瀬小学校) 図面リスト	規格 NS	図面番号 A-00	承認		管理建築士	印

工事特記仕様書(改修)	
I. 工事名称	
1. 工事概要	中瀬小学校他2校プール施設改修工事
2. 施工場所	中瀬小学校 三重県伊賀市西明寺105
3. 工事内容	プール等コンクリートブロック等 C.B造 延べ面積 — m ² — m ² 工事項目 プール等コンクリートブロック等改修 プール等コンクリートブロック等改修に伴う機械設備工事

III. 建築改修工事仕様
 1. 共通仕様
 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版(以下「改修標準仕様書」という。)による。
 2. 特記仕様
 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 (2) 特記事項は、□印の付いたものを適用する。
 (3) 項目欄に記載の()内数字番号は改修仕様の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項		
①	① 通用基準等	1) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通大臣官房官房長官部監修(平成28年版) 2) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官房長官部監修(平成28年版)		
一般 共 通 事 項	② 施工条件 (1.3.5)	◎ 監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 葉巻、基体みはグランド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。		
	3. 部分引渡し、部分使用	部分引き渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分 ・ 時期(平成 年 月 日~) ・ 打合せによる		
	4. 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・ 強制調査等の実施あり ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり		
	⑤ 発生材の処理等 (1.3.12)	本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規格が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号、以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議すること。 分別解体等の方法		
		工程 ・ 有 ・ 無	作業の有無 ・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	分別解体等の方法 ・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
	基礎・基盤ぐい	◎ 有 ・ 無		
	上部構造部分・外装	◎ 有 ・ 無		
	屋根	・ 有 ・ 無		
	建築設備・内装等	◎ 有 ・ 無		
	その他	・ 有 ・ 無		
		・ 引き渡しを要するもの ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 現場において再利用を図るもの ・ 再資源化を図るもの ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設雑草・木村		
		引渡しを要するもの、再資源化を図るものについては調査を作成し、監督員に提出すること。 引渡しを要するものの外のものは、全て構外に搬出し、建設リサイクル法、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。(ミニフェストA、B2、D、E票を提示すること。) 成形板等の解体・撤去にあたっては、事前にアスベスト含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。		
⑥	建設副産物情報 交換システムの 利用	再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時に工事請負代金額が5百万円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」及び「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。		
7	三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付證明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(ミニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。		
8	電気保安技術者 (1.3.3)	適用する		
⑨	技能士 (1.6.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。		
⑩	施工数量調査 (1.5.2)	調査範囲及び調査方法 ・ 工種別の特記による		

1.1 調査のための 環境部分の検 修 (1.5.3)	検修方法 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	工事の一時中止 (2.8)	工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン(案)」(平成27年6月 国土交通省)による。 三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中ににおける工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承認を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、投入材料及び建設機械器具等の確認に関するごと及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
1.2 建築材料等 (1.6.9)	1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質・性能評価基準建築材料等評価名簿」(最新版) (以下「評価名簿」という。)と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。 3) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性・持続可能性の説明のためのガイドライン」に準拠した説明書を、監督員に提出すること。 4) 本工事に使用する木材は、品質が求める水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。 5) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。 6) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 (認定製品の品名: ・) 7) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努める。 認定製品の品名: ・ 間伐材製工事用パリケード ・ 間伐材工事用看板 ・ 間伐材標示板 ・ ()	2.9 建築基準法に 基づき定まる 風圧及び積荷 荷重 (3.0)	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 V=34 m/s 地盤面相度区分 (· II · III) 積雪区分 () cm 工事期間は、候補手続きが完了後、竣工期60日間に変更します。
1.3 化学物質の濃 度測定 (1.6.9)	測定対象化学物質 (●で示したものとする。) 適用 ・ 施用用途 - ホルムアルデヒド - トルエン - キシレン - エチルベンゼン - ステレン - ハロゲン化物 - 学校・教育施設 ● - 住宅 ● - その他 ● 測定対象室及び測定箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ () 測定方法 ・ バッシャ法 ・ アクティブ法 報告書提出部数 2部	3.0 その他 (構造工期)	
1.4 特別な材料の 工法 (1.6.9)	改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。		
1.5 騒音・振動の 防止 (1.6.9)	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。		
1.6 工事写真 (1.6.9)	當該工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官房常務官部(平成28年版))に従い撮影する。		
1.7 完成図等 (1.8.2)	作成する (◎ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ ()) 完成図作成範囲(断面図、平面図、立面図、断面図、仕上等) 完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。	② 仮設工事 (2.2.1) (表2.2.1)	設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月)」により、「動きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び桟木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 内部足場の種別 ・ 脚立 ・ 足場板 外部足場の種別 ・ (脚立) 防護シート等による養生 ・ 適用する (◎ 適用しない)
1.8 完成写真 (1.8.2)	デジタルカメラで撮影し、全てJ版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部 箇所数は外観4面堂2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。 ・ アルバム(大きさ335mm×250mm程度、カラー) 1部	③ 既存部分の養生 (2.3.1) (表2.3.1)	既存部分の養生 ・ 図示(図面番号:) 既存プラン・カーテンの養生 ・ 著生方法 ・ 保管場所 ・ 構内既存施設内 固定された機品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ・ 行わない
1.9 電子納品 (1.8.2)	工事写真是、「当該工事に係る電子納品マニュアル(デジタル工事写真編)」等に基づき電子媒体も提出すること。 (提出部数 ・ 3部 ・ 部)	3. 仮設簡仕切り (2.3.2) (表2.3.1)	屋内の仮設簡仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種 合板 厚さ ・ 9 mm ・ () せっこうボード 厚さ ・ 9.5 mm ・ () 合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない 仮設扉 ・ 設置箇所 ・ 図示(図面番号:) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種
2.0 設備工事との 取扱い (1.8.2)	施工範囲 ・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ・ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び補強 ・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管、配線及び操作スイッチ 施工因 ・ 設備機器の位置、取扱い等の挨拶できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。	4. 監督員事務所 (2.4.1) (表2.4.1)	・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する 監督員事務所の規模(単位:n) 適用 ・ 10程度 ・ 20程度 ・ 35程度 ・ 65程度 ・ 100程度
2.1 舐存部分等への 対応 (1.8.2)	工事施工に際し、既存部分を汚損した場合は、監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。	5. 監督員事務所の 備品等 (2.4.1)(b) (表2.4.1)(b)	監督員事務所の仕上げ 部 位 等 ・ 床 合板張り又はビニール床シート張り - 内壁・天井 合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り - 屋根 漆油耐久性めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り
2.2 事故の発生時 (1.8.2)	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況収取、調査、検討等に協力すること。	6. 仮設便所 (2.4.1)(c) (表2.4.1)(c)	構内既存の施設 ・ 利用できる (◎ 利用できない)
2.3 市内企業優先 使用 (1.8.2)	本工事において、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方は伊賀市内に本店(建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者のうちから選定するよう努めること。	7. 工事用水 (2.4.1)(d) (表2.4.1)(d)	構内既存の施設 ・ 利用できる (◎ 有償 · 無償) · 利用できない
2.4 総合評価方式 (1.8.2)	本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件(以下「発注工事」という。)で、販賣の評価点において発注工事の加算点(満点)の1割を減点します。	8. 工事用電力 (2.4.1)(e) (表2.4.1)(e)	構内既存の施設 ・ 利用できる (◎ 有償 · 無償) · 利用できない 本工事で新規受電または既設受電回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。
2.5 不当介入を受け た場合の措 置 (1.8.2)	暴力団等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号)を受けた場合の措置について 1) 受注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否とともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を乞うこと。 2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。 3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工事に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。	9. 交通誘導警備員 (2.4.1)(f) (表2.4.1)(f)	配置 ・ 図示(図面番号:) - 2人
2.6 消防法関係の 手続き (1.8.2)	1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 - 本工事 - 建築工事 - 電気設備工事 - 機械設備工事 - 別途工事 2) 防火対象物の使用開始届出書 - 各種の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。		
2.7 主任技術者又 は監理技術者 の専任を要し ない期間 (1.8.2)	1) 現場施工に着手するまでの期間 - 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。 2) 檢査終了後の期間 - 檢査終了後、検査が終了し(発注者の合意により検査が延長した場合を除く。)、事業手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、発注者に通知した日とする。		

工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印

<tbl_r cells="7" ix="2" maxcspan="1" max

④ 外 壁 改 修 工 事	1 施工数量調査	<ul style="list-style-type: none"> 行う 行かない <p>調査範囲 全面 ()</p> <p>調査項目 ひび割れ部 (倍0.2mm ~ 0.2mm~1.0mm ~ 1.0mm以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> はがれ及びはく落部分 浮き部 <p>調査方法 ドラックスケール等 (, 足場 , ゴンドラ)</p> <p>報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)</p>																												
	2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>外壁</th><th>種類</th><th>改修工法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ コンクリート打放し仕上げ外壁</td><td>ひび割れ部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 </td></tr> <tr> <td>欠損部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 充填工法 </td></tr> <tr> <td rowspan="2">・ モルタル塗り仕上げ外壁</td><td>ひび割れ部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 </td></tr> <tr> <td>欠損部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 充填工法 モルタル塗替え工法 </td></tr> <tr> <td rowspan="2">・ タイル張り仕上げ外壁</td><td>浮き部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 </td></tr> <tr> <td>ひび割れ部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 </td></tr> <tr> <td rowspan="2">・ 目地</td><td>欠損部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 </td></tr> <tr> <td>浮き部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 エポキシ樹脂法入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 </td></tr> <tr> <td>・ 漆り仕上げ外壁</td><td>新規仕上げ</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 </td></tr> <tr> <td></td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マスチック塗材塗り </td></tr> </tbody> </table>	外壁	種類	改修工法	・ コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 	欠損部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 充填工法 	・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 	欠損部	<ul style="list-style-type: none"> 充填工法 モルタル塗替え工法 	・ タイル張り仕上げ外壁	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 	・ 目地	欠損部	<ul style="list-style-type: none"> タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 エポキシ樹脂法入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 	・ 漆り仕上げ外壁	新規仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 		
外壁	種類	改修工法																												
・ コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 																												
	欠損部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 充填工法 																												
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 																												
	欠損部	<ul style="list-style-type: none"> 充填工法 モルタル塗替え工法 																												
・ タイル張り仕上げ外壁	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 																												
	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 																												
・ 目地	欠損部	<ul style="list-style-type: none"> タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 																												
	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 エポキシ樹脂法入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 																												
・ 漆り仕上げ外壁	新規仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 																												
		<ul style="list-style-type: none"> 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マスチック塗材塗り 																												
③ 改修工法等	4.2.2 (a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 <p>種類 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</p> <p>注入量 () 注入間隔 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入口間隔 () 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入口間隔 () <p>材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築改修用注入エポキシ樹脂)</p> <ul style="list-style-type: none"> 低粘度形 中粘度形 <p>コア抜取検査 行う 行わない</p> <ul style="list-style-type: none"> 抜取り個数 () 抜取り部分補修方法 () 																												
	4.2.2 (b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)	<ul style="list-style-type: none"> Uカットシール材充填工法 <p>材料 シーリング用材充填 (P U-1 , P U-2 , ())</p> <ul style="list-style-type: none"> 可とう性エポキシ樹脂充填 <p>シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う 行わない 																												
	4.2.2 (c) (4.3.6) (4.4.7)	<ul style="list-style-type: none"> シール工法 <p>材料 バテ状エポキシ樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> 可とう性エポキシ樹脂 																												
	4.2.2 (d) (4.3.7) (4.4.8)	<ul style="list-style-type: none"> 充填工法 <p>材料 エポキシ樹脂モルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> ポリマーセメントモルタル 																												
①	4.2.2 (e) (4.4.9)	<ul style="list-style-type: none"> モルタル塗替え工法 <p>材料 既製目地材の適用及び形状 ()</p> <p>仕上げ厚 ()</p>																												
	4.2.2 (f) (4.4.10) (4.4.11)	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 <p>アンカーピンの本数 標準 ()</p> <p>材料 ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ()</p>																												
	4.2.2 (g) (4.4.12)	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 <p>アンカーピンの本数(注入口の数) 標準 ()</p> <p>材料 ステンレス鋼 (S U S 3 0 4) ()</p>																												

(4.2.2) (e) (4.4.12) (回4.4.2)	<ul style="list-style-type: none"> アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカービンの本数及び注入口の数・標準・() 材料・ステンレス鋼(SUS304)・() 																																																																								
(4.2.2) (f) (4.4.13) (回4.4.3)	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカービンニング部分エボキシ樹脂注入工法 注入口付アンカービンの本数・標準・() 材料・ステンレス鋼(SUS304)・() 呼び径・6mm・() 																																																																								
(4.2.2) (f) (4.4.14) (回4.4.4)	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカービンニング全面エボキシ樹脂注入工法 注入口付アンカービンの本数及び注入口の数・標準・() 材料・ステンレス鋼(SUS304)・() 呼び径・6mm・() 																																																																								
(4.2.2) (f) (4.4.15) (回4.4.4)	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカービンの本数及び注入口の配置・標準・() 材料・ポリマーセメントスラリー() ・注入口付アンカービン()・ステンレス鋼(SUS304)・() 呼び径・6mm・() 																																																																								
(4.2.2) (h) (4.5.7)	<ul style="list-style-type: none"> タイル部分張替え工法 材料・ポリマーセメントモルタル 变成シリコーン樹脂、エボキシ樹脂、ポリウレタン樹脂 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">用途による区分</th> <th colspan="3">区分</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">標準・特注色</th> <th rowspan="2">耐溶害性有無</th> </tr> <tr> <th>I類(磁器)</th> <th>II類(セラミック)</th> <th>III類(陶器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 役物()・一体成形・接着加工) 試験張り・行う・行わない 見本焼き・行う・行わない 	施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			役物	標準・特注色	耐溶害性有無	I類(磁器)	II類(セラミック)	III類(陶器)																																																											
施工箇所	形状寸法					工法	用途による区分	区分				役物	標準・特注色	耐溶害性有無																																																											
		I類(磁器)	II類(セラミック)	III類(陶器)																																																																					
(4.2.2) (h) (4.5.8) (表4.5.4)	<ul style="list-style-type: none"> タイル張替え工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイルの種別</th> <th>タイルの大きさ</th> <th>工法</th> <th>塗り厚(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・外装タイル</td> <td rowspan="3">小口以上二丁掛け以下</td> <td>・密着張り</td> <td>5~8</td> </tr> <tr> <td>・改良積み上げ張り</td> <td>4~7</td> </tr> <tr> <td>・改良圧着張り</td> <td>下地側 4~6 タイル側 3~4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ユニットタイル</td> <td>・25mm角を超える小口未満</td> <td>・マスク張り</td> <td>3~4</td> </tr> <tr> <td>・小口未満</td> <td>・モザイクタイル貼り</td> <td>3~5</td> </tr> </tbody> </table>	タイルの種別	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)	・外装タイル	小口以上二丁掛け以下	・密着張り	5~8	・改良積み上げ張り	4~7	・改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4	・ユニットタイル	・25mm角を超える小口未満	・マスク張り	3~4	・小口未満	・モザイクタイル貼り	3~5																																																					
タイルの種別	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)																																																																						
・外装タイル	小口以上二丁掛け以下	・密着張り	5~8																																																																						
		・改良積み上げ張り	4~7																																																																						
		・改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4																																																																						
・ユニットタイル	・25mm角を超える小口未満	・マスク張り	3~4																																																																						
	・小口未満	・モザイクタイル貼り	3~5																																																																						
(4.5.15)	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカービンニングエボキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカービンの本数()本) 																																																																								
(4.2.2) (h) (4.5.16)	<ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地 (位置寸法 ×) 検査 シーリング接着性試験 ・行う()・簡易接着性試験()・引張接着性試験() 																																																																								
④ 塗り仕上げ (4.2.2) (j) (表4.2.4(その1) (その2))	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げ形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">薄付け仕上塗材</td> <td rowspan="6">・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・着色骨材砂壁状</td> <td>吹付け こて</td> </tr> <tr> <td>・()</td> <td>・()</td> <td>・()</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">厚付け仕上塗材</td> <td rowspan="6">・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ひき起し</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・搔き落とし</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・()</td> <td>・()</td> <td>・()</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">複層仕上塗材</td> <td rowspan="6">・外装厚塗材S ・外装厚塗材E</td> <td>・吹放し</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ひき起し</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・()</td> <td>・()</td> <td>・()</td> </tr> <tr> <td>・()</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">可とう形改修用 仕上塗材</td> <td rowspan="3">・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE</td> <td>・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・()</td> <td>・()</td> </tr> <tr> <td>・()</td> <td>・()</td> <td>・()</td> </tr> <tr> <td>・()</td> <td>・()</td> <td>・()</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量(kg/m²)</p> <p>・マスチック塗材塗り A種 B種 仕上材塗り()</p>	種類	呼び名	仕上げ形状	工法	薄付け仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状	吹付け	・ゆず肌状	吹付け	・平たん状	こて	・凹凸状	ローラー	・ゆず肌状	吹付け	・さざ波状	ローラー	・着色骨材砂壁状	吹付け こて	・()	・()	・()	厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・吹放し	吹付け	・凸部処理	吹付け	・平たん状	こて	・凹凸状	ローラー	・ひき起し	吹付け	・搔き落とし	吹付け	・()	・()	・()	複層仕上塗材	・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・吹放し	吹付け	・凸部処理	吹付け	・平たん状	こて	・凹凸状	ローラー	・ひき起し	吹付け	・()	・()	・()	・()	・ゆず肌状	ローラー	可とう形改修用 仕上塗材	・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・凸部処理	吹付け	・凹凸模様	吹付け	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()
種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																																																						
薄付け仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状	吹付け																																																																						
		・ゆず肌状	吹付け																																																																						
		・平たん状	こて																																																																						
		・凹凸状	ローラー																																																																						
		・ゆず肌状	吹付け																																																																						
		・さざ波状	ローラー																																																																						
	・着色骨材砂壁状	吹付け こて																																																																							
・()	・()	・()																																																																							
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・吹放し	吹付け																																																																						
		・凸部処理	吹付け																																																																						
		・平たん状	こて																																																																						
		・凹凸状	ローラー																																																																						
		・ひき起し	吹付け																																																																						
		・搔き落とし	吹付け																																																																						
	・()	・()	・()																																																																						
複層仕上塗材	・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・吹放し	吹付け																																																																						
		・凸部処理	吹付け																																																																						
		・平たん状	こて																																																																						
		・凹凸状	ローラー																																																																						
		・ひき起し	吹付け																																																																						
		・()	・()	・()																																																																					
	・()	・ゆず肌状	ローラー																																																																						
可とう形改修用 仕上塗材	・複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・凸部処理	吹付け																																																																						
		・凹凸模様	吹付け																																																																						
		・()	・()																																																																						
	・()	・()	・()																																																																						
・()	・()	・()																																																																							
(4.7.2) (表4.7.1)																																																																									

(表4.2.5) 複層仕上塗材の上塗材の種類									
樹脂種類	溶媒種類	外 親							
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 鮎有	・ 鮎無	・ メタリック					
	・ 弱溶剤系	・ 鮎有	・ 鮎無						
	・ 水系	・ 鮎有	・ 鮎無						
・ シリカ系	・ 水系	・ 鮎無							
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 鮎有	・ 鮎無	・ メタリック					
	・ 弱溶剤系	・ 鮎有	・ 鮎無						
	・ 水系	・ 鮎有	・ 鮎無						
・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 鮎有	・ 鮎無	・ メタリック					
	・ 弱溶剤系	・ 鮎有	・ 鮎無						
	・ 水系	・ 鮎有	・ 鮎無						
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 鮎有	・ 鮎無	・ メタリック					
	・ 弱溶剤系	・ 鮎有	・ 鮎無						
	・ 水系	・ 鮎有	・ 鮎無						

(注) 鮎無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改様塗材には適用しない。

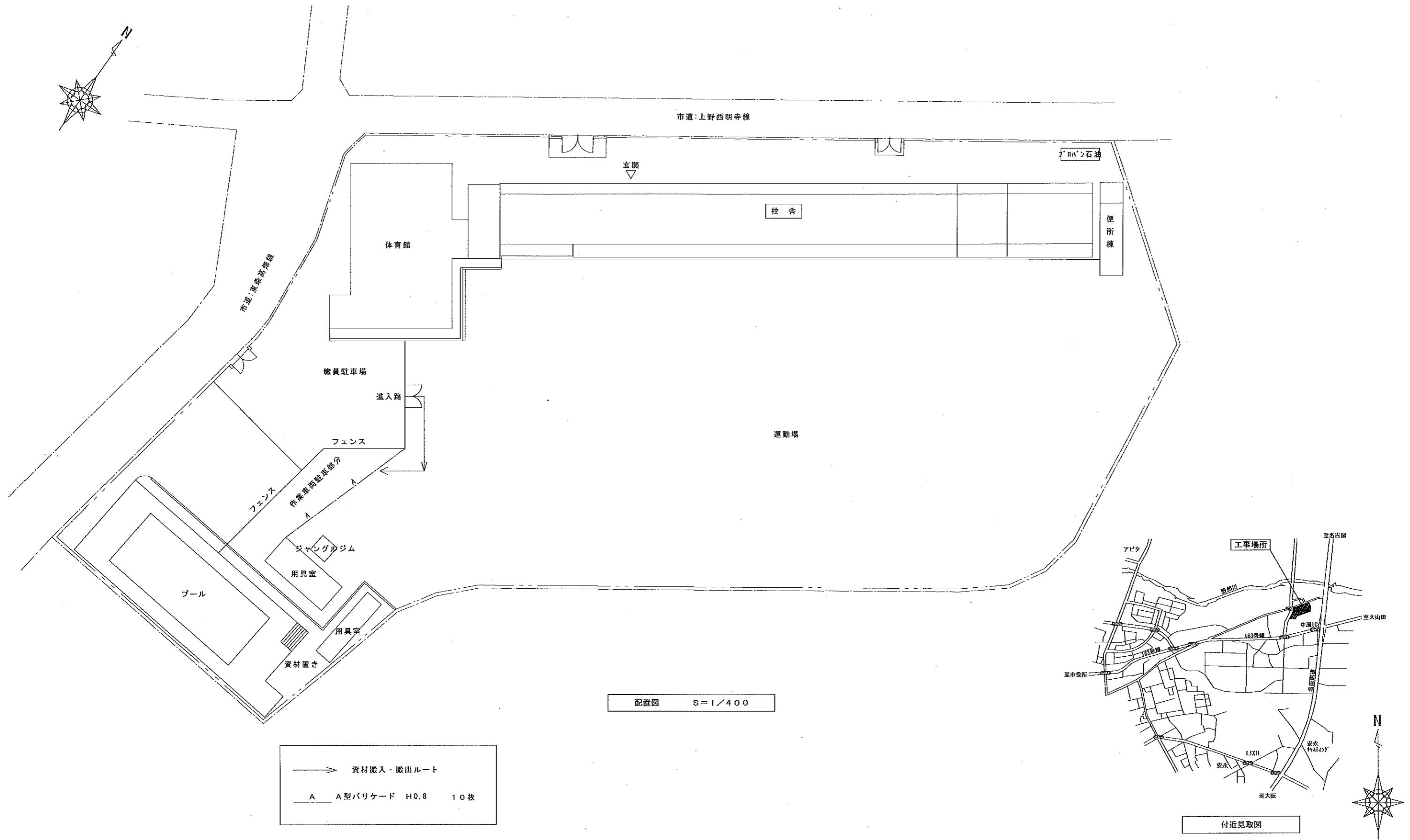
(4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理									
工法	処理範囲								
・ サンダー工法									
・ 高圧水洗工法									
・ 塗膜剥離剤工法									
・ 水洗い工法									
・ デッキブラシ									
○ 高圧ポンプ									

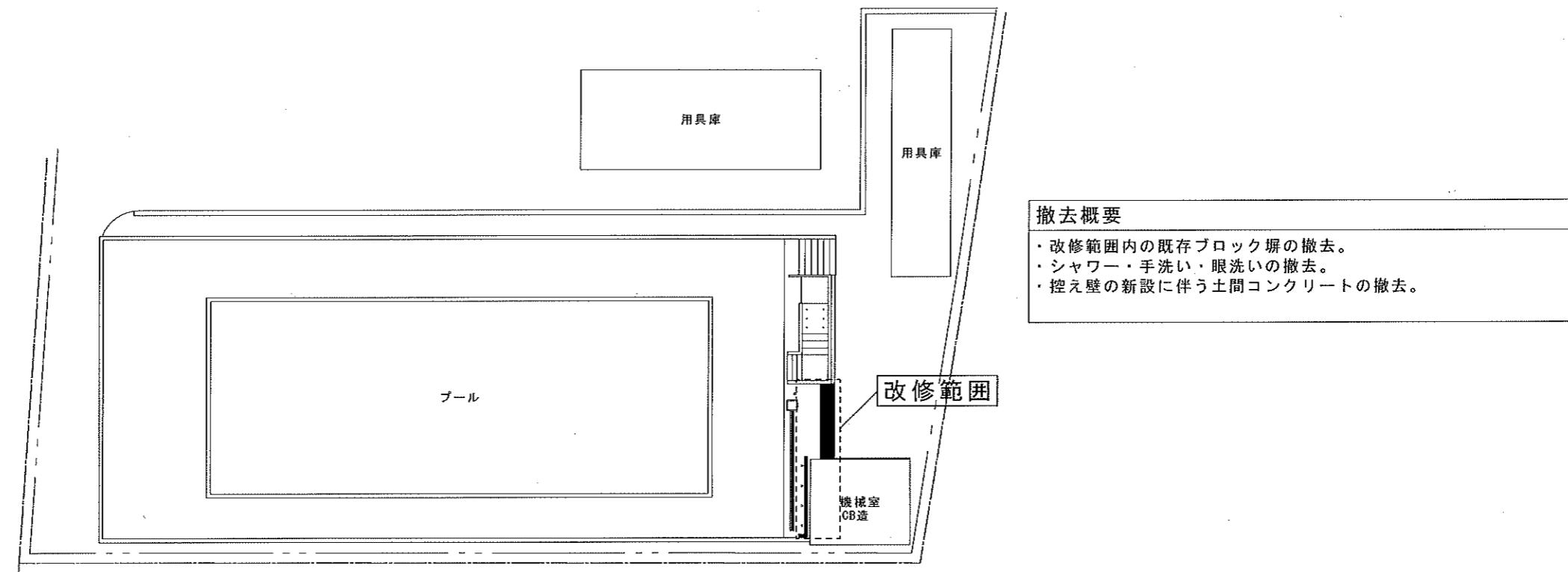
(4.6.4) 下地調整									
・ C-1	・ C-2	・ CH-2	・ E	・ ()					

(14) モルタル塗り (6.15.3)	既製目地材	・ 使用する(形状:							
	床の目地	・ 図示(図面番号:))					
(15) タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置	・ 図示(図面番号:))					
	タイルの種類								
(6.16.3)(b)(1)	試験張り	・ 行う	・ 行わない						
	見本焼き	・ 行う	・ 行わない						

7 塗 装 改 修 事	1 材料 (7.1.3) (b)	屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	8 の 5 耐 震 改 修 工 事 あと 施 工 ア ン カ ー 工 事	種類 ① あと施工アンカ ーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	金属系 セットの方式 ○ 本体打込み式 () 改良型 ○ 従来型 径及び埋込み深さ 引張耐力 せん断耐力 接合筋の種類・径・長さ ○ 図示 (図面番号:)	○ あと施工アンカ ーの性能確認試験 打撃式 有機系 無機系 径及び埋込み深さ 引張耐力 せん断耐力 アンカー筋の種類 アンカー筋の新設室内への定着長さ ○ 図示 (図面番号:)
	2 下地調整 (7.2.1)~(7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲 (塗り替えでRB種の場合) ○ 図示 (図面番号:)		種別 下地 木部 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 モルタル、プラスチ一面 コンクリート、ALCパネル面 コンクリート、押出成形セメント板面 せっこうボード、その他ボード面	種別 RA種 RB種 RC種 RA種 RB種 RC種 RA種 RB種 RC種 RA種 RB種 RC種 RA種 RB種 RC種 RA種 RB種 RC種 RA種 RB種 RC種	ひび割れ部の補修
	3 鑄止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~ (表7.3.4)	鑄止め塗料種別 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種		② あと施工アンカ ーの施工 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5)	接着系 カプセル型回転 打撃式 有機系 無機系 径及び埋込み深さ 引張耐力 せん断耐力 アンカー筋の種類 アンカー筋の新設室内への定着長さ ○ 図示 (図面番号:)	○ あと施工アンカーの性能確認試験 打撃式 有機系 無機系 径及び埋込み深さ 引張耐力 せん断耐力 アンカー筋の種類 アンカー筋の新設室内への定着長さ ○ 図示 (図面番号:)
	4 合成樹脂調合ペ イント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3)~(7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3)	塗料種別 1種 ()		芽孔 埋込み記号等の検査の方法 ○ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行なう。 はつり出しによる。 ○ ()	○ あと施工アンカーの性能確認試験 実施する 実施しない	○ あと施工アンカーの性能確認試験 改修標準仕様書 (8.12.6)による ()
	5 クリヤラッカ一 塗り(GL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 A種 B種		確認強度 ○ ブロック鉄筋と溶接接合すること	確認強度 ○ ブロック鉄筋と溶接接合すること	確認強度 ○ ブロック鉄筋と溶接接合すること
	6 アクリル樹脂系 防水分散形塗料 (NAF) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 A種 B種		場所打ちコンクリート壁の増設工事 3 シアコネクタ	場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 金属系と施工アンカーの異形差筋アンカ 径[mm] D10 長さ[mm] 増打壁厚-40 () 埋込み深さ[mm] 5d (d: シアコネクタの径)以上 () 間隔[mm] 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 兼用してもよい 兼用しない ()	場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 金属系と施工アンカーの異形差筋アンカ 径[mm] D10 長さ[mm] 増打壁厚-40 () 埋込み深さ[mm] 5d (d: シアコネクタの径)以上 () 間隔[mm] 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 兼用してもよい 兼用しない ()
	7 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)	上塗り等級 1級 (フッ素系) 2級 (シリコン系) 3級 (ポリウレタン系)		下地 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 コンクリート面及び 押出成形セメント板面	種別 A種 B種 C種 A種 B種 C種 A-1種 A-2種 B-1種 B-2種 C-1種 C-2種	下地 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 コンクリート面及び 押出成形セメント板面
	8 つや有合成樹脂 エマルションペ イント塗り (EP-0) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別 下地 コンクリート、モルタル プラスチック、せっこうボード、 その他ボード面 鉄鋼面 (屋内) 亜鉛めっき鋼面 (屋内)		下地 コンクリート、モルタル プラスチック、せっこうボード、 その他ボード面 鉄鋼面 (屋内) 亜鉛めっき鋼面 (屋内)	種別 A種 B種 C種 A種 B種 C種 A種 B種 C種 A種 B種 C種	下地 コンクリート、モルタル プラスチック、せっこうボード、 その他ボード面 鉄鋼面 (屋内) 亜鉛めっき鋼面 (屋内)
	9 合成樹脂エマ ルションペイン ト塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 A種 B種 C種 しみ止め ()		外観検査 引張試験 超音波深傷試験	外観検査 引張試験 超音波深傷試験	外観検査 引張試験 超音波深傷試験
	10 合成樹脂エマ ルション模様 塗料塗り(EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 A種 B種 C種		標準仕様は、○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (社団法人公共建築協会) ○ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 ・ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。	標準仕様は、○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (社団法人公共建築協会) ○ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 ・ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ 定着長さは設計図書による。	標準仕様は、○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (社団法人公共建築協会) ○ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 ・ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ 定着長さは設計図書による。
	11 ウレタン樹脂 ワニス塗り(WO) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 A種 B種		外観検査 引張試験 超音波深傷試験	外観検査 引張試験 超音波深傷試験	外観検査 引張試験 超音波深傷試験
	12 ラッカーエナ メル塗り(LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別 A種 B種		標準仕様は、○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (社団法人公共建築協会) ○ 延久設計基準強度 F_d は、短期 ○ 標準 長期 超長期 ○ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。 ○ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の確認を得ること。必要に応じて試験を行う。 フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、 試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラー)にて報告する。	標準仕様は、○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (社団法人公共建築協会) ○ 延久設計基準強度 F_d は、短期 ○ 標準 長期 超長期 ○ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。 ○ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の確認を得ること。必要に応じて試験を行う。 フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、 試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラー)にて報告する。	標準仕様は、○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (社団法人公共建築協会) ○ 延久設計基準強度 F_d は、短期 ○ 標準 長期 超長期 ○ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。 ○ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の確認を得ること。必要に応じて試験を行う。 フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、 試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラー)にて報告する。
	13 木造保護塗料 塗り(WP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別 A種 B種		調合 項目 設計基準強度 [N/mm²] 単位水量 [kg/m³] 単位セメント量 [kg/m³] 水セメント比 [%] 空気量 [%] 塩化物量 [kg/m³]	調合 項目 鉄筋コンクリート 無筋コンクリート 設計基準強度 [N/mm²] 24 以下 18 単位水量 [kg/m³] 185 以下 185 以下 単位セメント量 [kg/m³] 270 以上 — 水セメント比 [%] A種: 65 以下、B種: 60 以下 — 空気量 [%] 4.5 4.5 塩化物量 [kg/m³] 0.3 以下 —	調合 項目 捨てコンクリート FC18N/mm² SL-15 土間コンクリート FC21N/mm² SL-18 基礎コンクリート FC24N/mm² SL-18 上部コンクリート FC24N/mm² SL-18

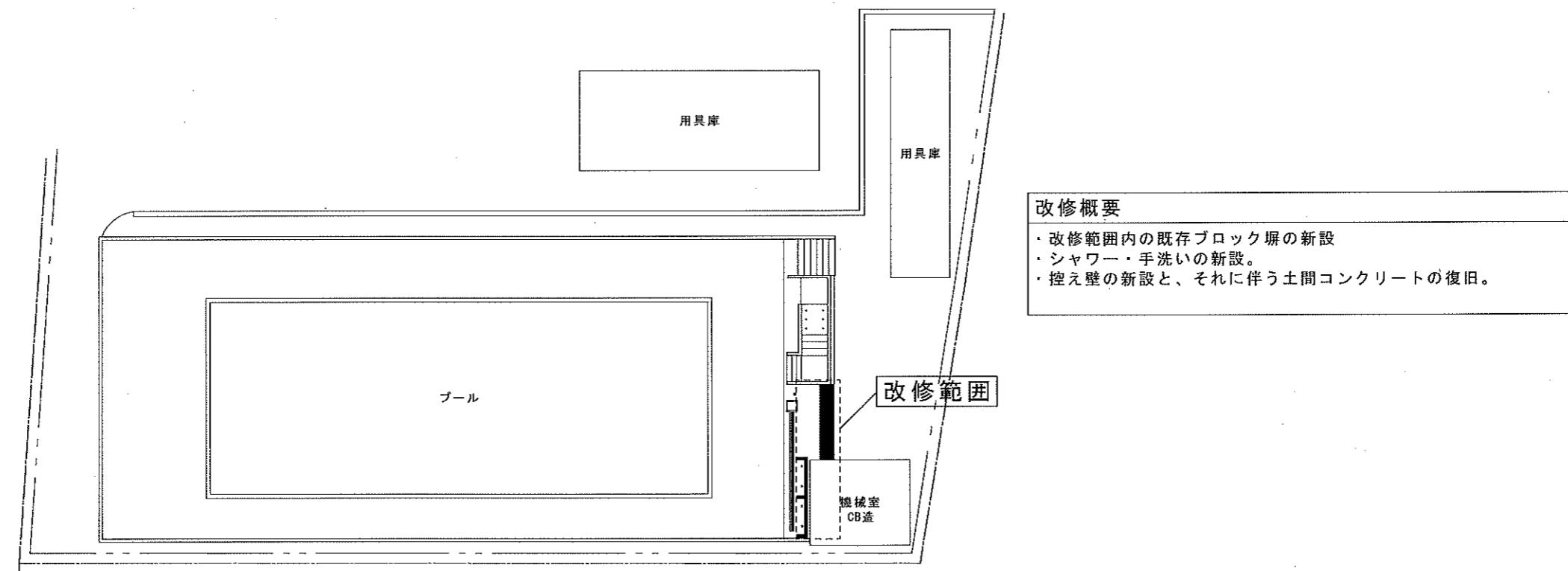
特 記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事	承 認 者 管 理 者 士 印
	図名 (中瀬小学校) 特記仕様書3	
	図面提出日	





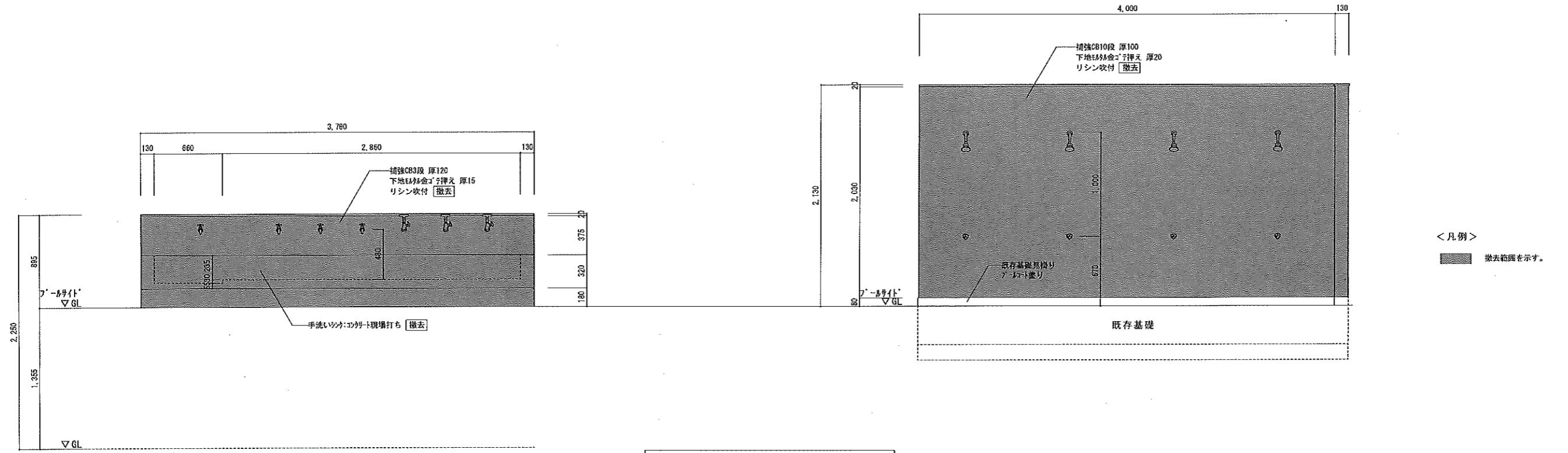
現況
↓
改修

現況
↓
改修

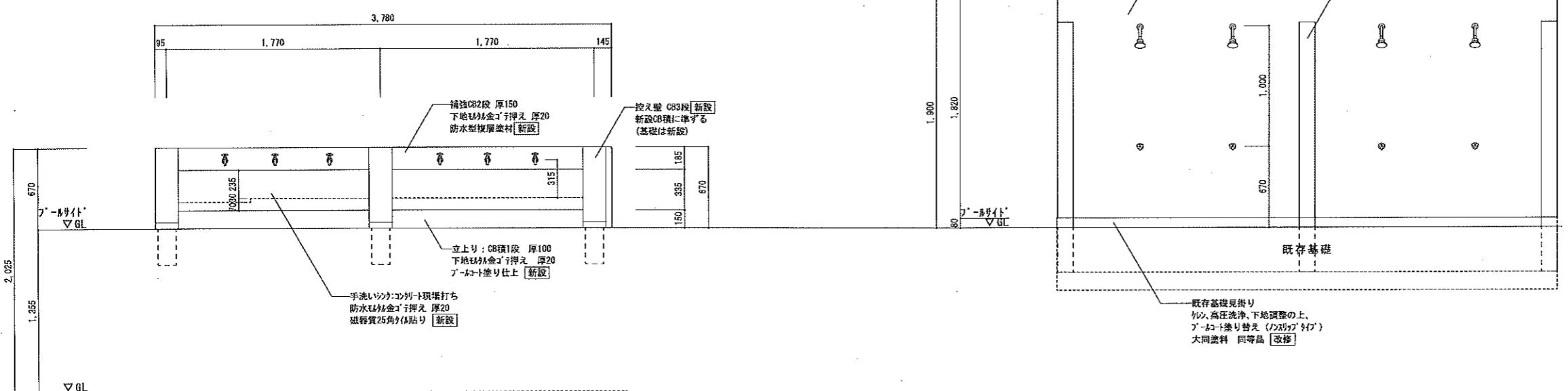


付記

付記	工事名	中瀬小学校他 2 校 プール施設改修工事		図面提出日	承認	管理建築士	印	
	図名	(中瀬小学校) 平面図			1/200 (A 2)	A - 05		
		1/282 (A 3)						

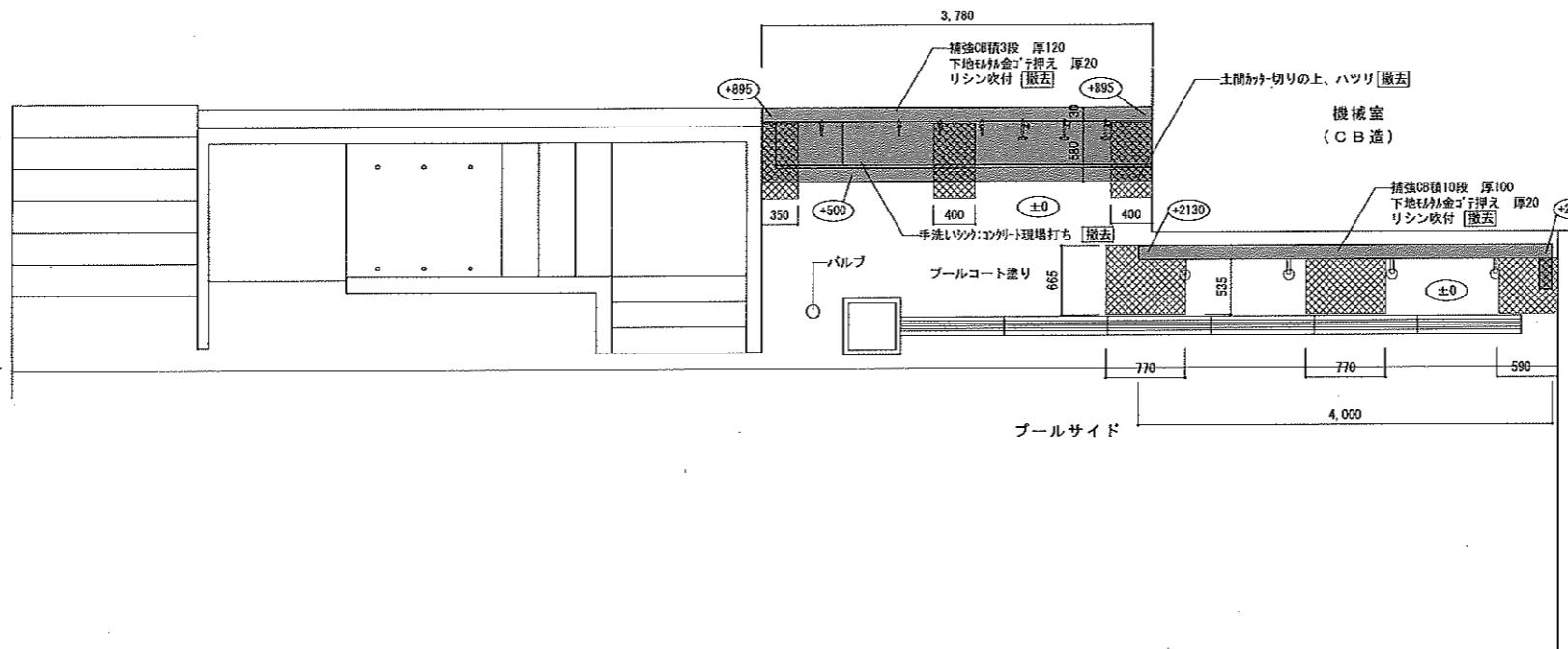


現況
↓
改修

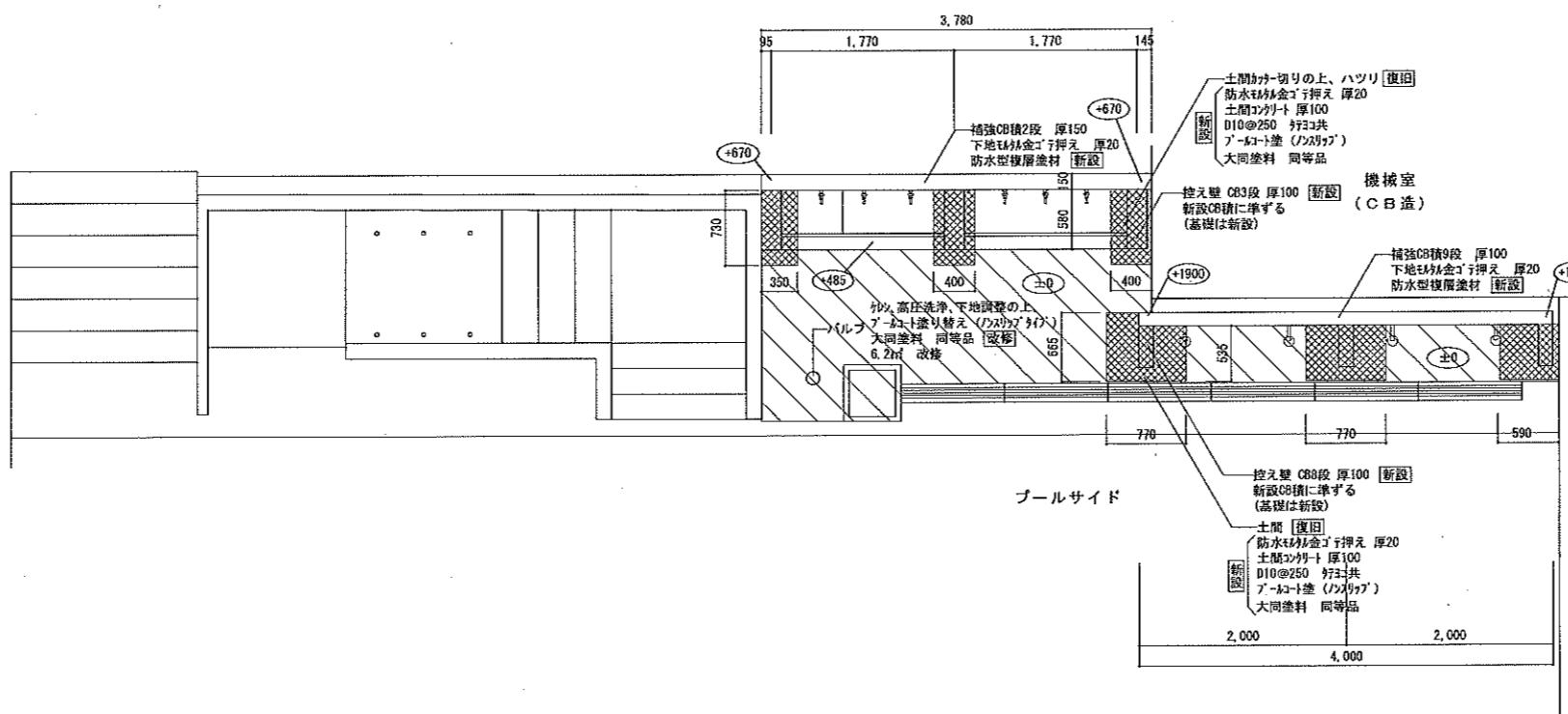
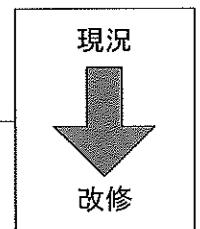
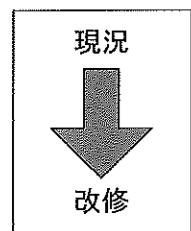


現況
↓
改修

付記	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
		図名	規格	図面番号			
	(中瀬小学校) 立面図	1/30 (A2) 1/42 (A3)	A-06				



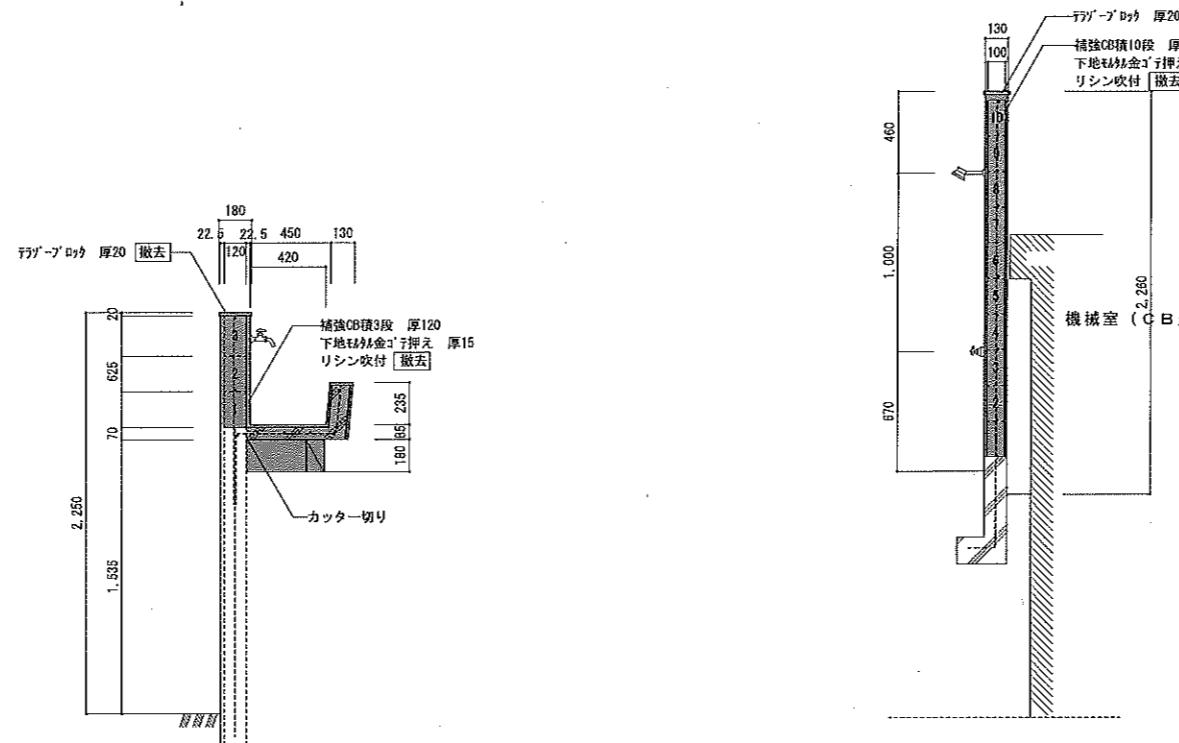
現況手洗・シャワー平面詳細図



改修手洗・シャワー平面詳細図

1 / 50

特記		工事名 中瀬小学校他 2 校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
			図名 (中瀬小学校) 平面詳細図	規尺 1 / 50 (A 2) 1 / 71 (A 3)			
			A - 07		図面提出日		

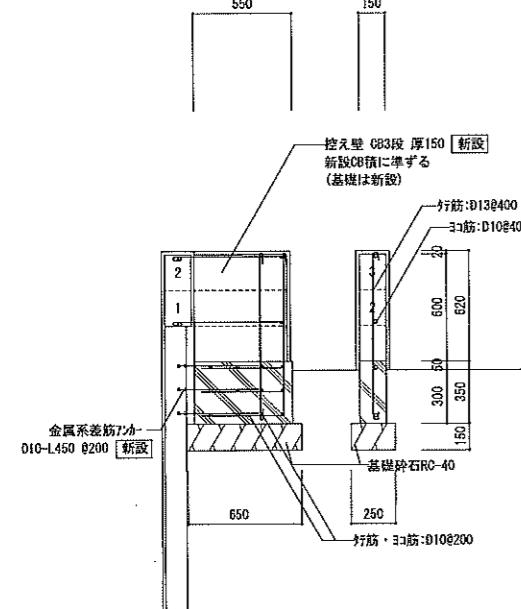
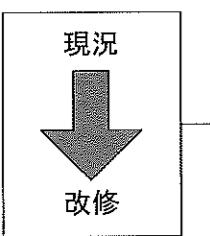


手洗い断面図

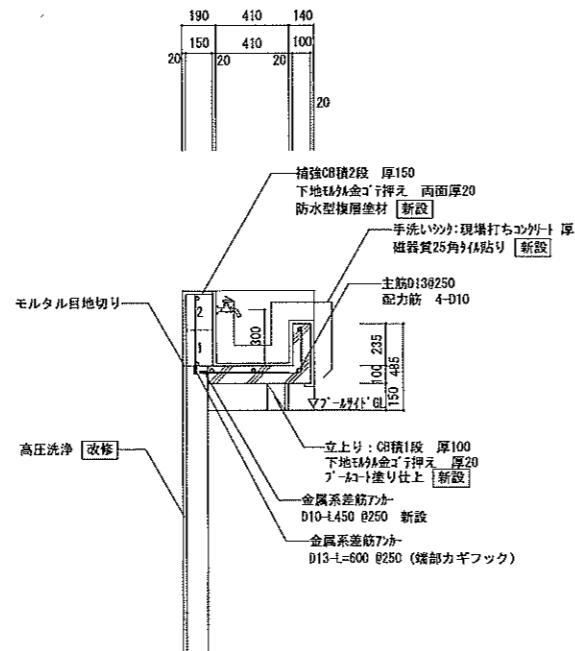
シャワーブロック断面図

〈凡例〉

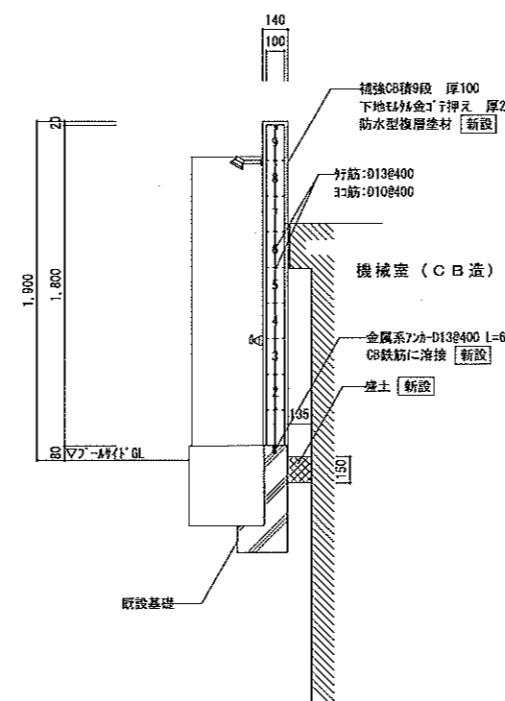
撤去範囲を示す。



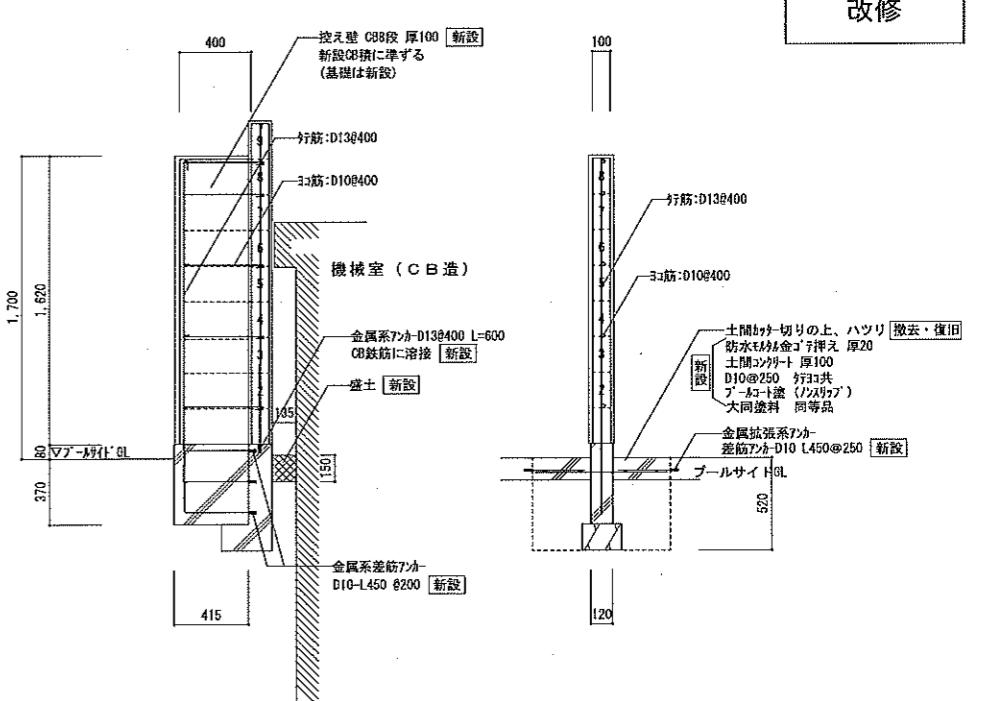
手洗い控え壁断面図



手洗い断面図



シャワープロック断面図



シャワーブロック控え壁断面図

特記	ブロック積み基礎差し筋アンカーはブロック内鉄筋に溶接すること	工事名 中瀬小学校他 2 校プール施設改修工事				承認 印

特記	工事名 中野小学校2校プール建設改修工事				承認	管理建築士	印
	図名 《中野小学校》特記仕様書	縮尺 N.S.	図面番号 M-01				
				図面提出日			

図示記号

記号	名称
_____	給水管
_____	排水管
○	給水栓
△ □ ○	弁類
◎	床上掃除口
◎	排水金物

衛生器具表

名称	品番	附属品	外部	合計
横水栓	LF-7R-13	吐水口回転形	7	7
固定シャワー	BF-4R	BF-2S-13(埋込形止水栓)	6	6

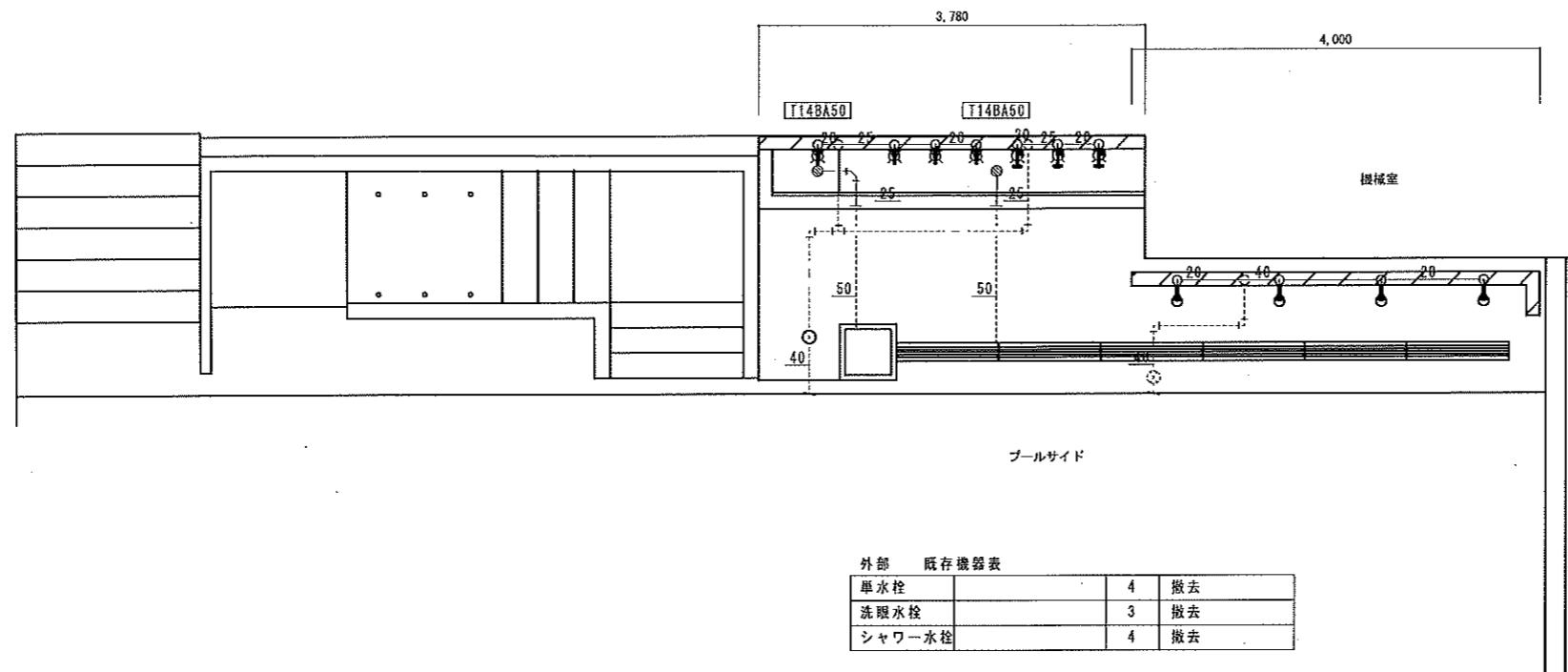
*衛生器具型番は参考とし、監督員の指示（器具の調整等）に従うものとする。

付記

		工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事					承認		管理建築士	印
		図名 (中瀬小学校) 図示記号・衛生器具表			機関 NS	監査官 M-02				

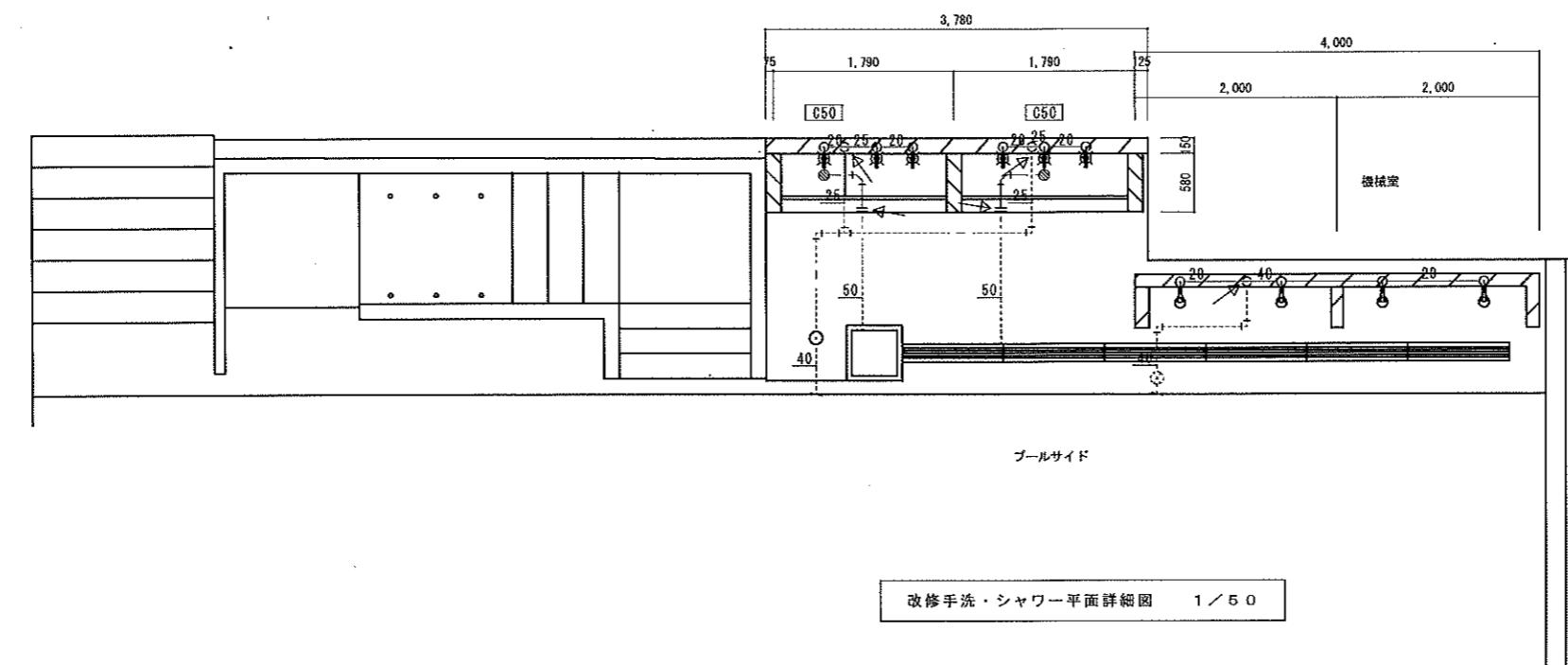
凡例	
-----	今回撤去箇所を示す
-----	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
(既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。



現況
↓
改修

現況
↓
改修



凡例	
-----	今回改修箇所を示す
-----	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
土間及びブロックはつり改修箇所を示す。

土間及びブロックはつり改修箇所を示す。

特記	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事		監理建築士	印
		図名	規格		
	(中瀬小学校) 平面詳細図 給排水衛生設備	1/50 (A2) 1/71 (A3)	図面番号 M-03		

府中小学校

図面リスト

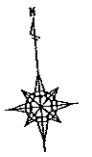
No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	図面リスト	M-01	特記仕様書
A-01	特記仕様書1	M-02	図示記号・衛生器具表
A-02	特記仕様書2	M-03	平面詳細図① 給排水衛生設備
A-03	特記仕様書3	M-04	平面詳細図② 給排水衛生設備
A-04	配置図兼仮設計画図・付近見取図		
A-05	平面図		
A-06	平面詳細図・立面図①		
A-07	平面詳細図・立面図②		
A-08	断面詳細図		
A-09	テントシェルター・控え壁断面詳細図		

件名	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	(府中小学校) 図面リスト	規格	N S			
					図面提出日		

④ 外 壁 改 修 工 事	1 施工数量調査	<ul style="list-style-type: none"> 行う 行かない 調査範囲 全面 () 調査項目 ひび割れ部 (幅0.2mm ~ 1.0mm 1.0mm以上) はがれ及びはく落部分 浮き部 調査方法 打診、目視及びクラックスケール等 (足場 ゴンドラ) 報告書 2冊(立面図等に記載、必要に応じて写真添付) 																																																																																																																																	
	2 改修工法の種類	<table border="1"> <thead> <tr> <th>外壁</th><th>種類</th><th>改修工法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート打放し 仕上げ外壁</td><td>ひび割れ部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 </td></tr> <tr> <td>欠損部</td><td>充填工法</td></tr> <tr> <td rowspan="10">モルタル塗り仕上 げ外壁</td><td>ひび割れ部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 </td></tr> <tr> <td>欠損部</td><td>充填工法</td></tr> <tr> <td>浮き部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> モルタル塗替え工法 </td></tr> <tr> <td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマー改修用注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマー改修用注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 </td></tr> <tr> <td>ひび割れ部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 タイル部分張替え工法 タイル強替え工法 </td></tr> <tr> <td>欠損部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマー改修用注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 エポキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル強替え工法 </td></tr> <tr> <td>タイル張り仕上げ 外壁</td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 </td></tr> <tr> <td>浮き部</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マスチック塗材塗り </td></tr> <tr> <td>目地</td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 </td></tr> <tr> <td>塗り仕上げ外壁</td><td>新規仕上げ</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マスチック塗材塗り </td></tr> <tr> <td>③ 改修工法等</td><td></td><td> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 種類 自動式底圧エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () <p>材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築構造用注入エポキシ樹脂) ・低粘度形 ・中粘度形 コア抜取装置 行う 行わない ・抜取り個数 () ・抜取り部分補修方法 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> Uカットシール材充填工法 材料 シーリング用材充填 (PU-1 PU-2 ()) ・可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマー改修用モルタル充填 行う 行わない シール工法 材料 バテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 充填工法 材料 エポキシ樹脂モルタル ・ポリマー改修用モルタル モルタル塗替え工法 材料 質観目地材の適用及び形状 () 仕上げ厚 () アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数 (標準) () 材料 ステンレス鋼 (SUS304) () アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数及び注入の数 (標準) () 材料 ステンレス鋼 (SUS304) () </td></tr> <tr> <td></td><td>4 塗り仕上げ</td><td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>呼び名</th><th>仕上げ形状</th><th>工法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">薄付け仕上塗材</td><td rowspan="10">外装薄塗材E</td><td>砂面状</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>炒芋削状</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td>こて</td></tr> <tr><td>四凸状</td><td></td></tr> <tr><td>炒芋削状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>古波状</td><td></td></tr> <tr><td>着色骨材粉壁状</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td></td><td>こて</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="10">厚付け仕上塗材</td><td rowspan="10">外装厚塗材C</td><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>こて</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr><td>搔き落とし</td><td></td></tr> <tr><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>こて</td></tr> <tr> <td rowspan="10">複層仕上塗材</td><td rowspan="10">複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B</td><td>ゆず肌状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>こて</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="10">可とう形改修用 仕上塗材</td><td rowspan="10">複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B</td><td>ゆず肌状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材質要盤 (kg/m²)</p> <p>マスチック塗材塗り A種 B種 仕上材塗り ()</p> </td></tr> </tbody> </table>	外壁	種類	改修工法	コンクリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 	欠損部	充填工法	モルタル塗り仕上 げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 	欠損部	充填工法	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> モルタル塗替え工法 		<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマー改修用注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマー改修用注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 タイル部分張替え工法 タイル強替え工法 	欠損部	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマー改修用注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 エポキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル強替え工法 	タイル張り仕上げ 外壁		<ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マスチック塗材塗り 	目地		<ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 	塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マスチック塗材塗り 	③ 改修工法等		<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 種類 自動式底圧エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () <p>材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築構造用注入エポキシ樹脂) ・低粘度形 ・中粘度形 コア抜取装置 行う 行わない ・抜取り個数 () ・抜取り部分補修方法 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> Uカットシール材充填工法 材料 シーリング用材充填 (PU-1 PU-2 ()) ・可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマー改修用モルタル充填 行う 行わない シール工法 材料 バテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 充填工法 材料 エポキシ樹脂モルタル ・ポリマー改修用モルタル モルタル塗替え工法 材料 質観目地材の適用及び形状 () 仕上げ厚 () アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数 (標準) () 材料 ステンレス鋼 (SUS304) () アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数及び注入の数 (標準) () 材料 ステンレス鋼 (SUS304) () 		4 塗り仕上げ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>呼び名</th><th>仕上げ形状</th><th>工法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">薄付け仕上塗材</td><td rowspan="10">外装薄塗材E</td><td>砂面状</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>炒芋削状</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td>こて</td></tr> <tr><td>四凸状</td><td></td></tr> <tr><td>炒芋削状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>古波状</td><td></td></tr> <tr><td>着色骨材粉壁状</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td></td><td>こて</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="10">厚付け仕上塗材</td><td rowspan="10">外装厚塗材C</td><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>こて</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr><td>搔き落とし</td><td></td></tr> <tr><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>こて</td></tr> <tr> <td rowspan="10">複層仕上塗材</td><td rowspan="10">複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B</td><td>ゆず肌状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>こて</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="10">可とう形改修用 仕上塗材</td><td rowspan="10">複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B</td><td>ゆず肌状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材質要盤 (kg/m²)</p> <p>マスチック塗材塗り A種 B種 仕上材塗り ()</p>	種類	呼び名	仕上げ形状	工法	薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	砂面状	吹付け	炒芋削状		平たん状	こて	四凸状		炒芋削状	ローラー	古波状		着色骨材粉壁状	吹付け		こて					厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	吹放し	吹付け	凸部処理		平たん状		四凸状	こて	ひき起し		搔き落とし		吹放し	吹付け	凸部処理		平たん状		四凸状	こて	複層仕上塗材	複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B	ゆず肌状	ローラー	凸部処理		平たん状		四凸状	ローラー	ひき起し		吹放し	吹付け	凸部処理		平たん状		四凸状	こて	ひき起し		可とう形改修用 仕上塗材	複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B	ゆず肌状	ローラー	凸部処理		平たん状		四凸状	ローラー	ひき起し		吹放し	吹付け	凸部処理		平たん状		四凸状	ローラー	ひき起し
外壁	種類	改修工法																																																																																																																																	
コンクリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 																																																																																																																																	
	欠損部	充填工法																																																																																																																																	
モルタル塗り仕上 げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 																																																																																																																																	
	欠損部	充填工法																																																																																																																																	
	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> モルタル塗替え工法 																																																																																																																																	
		<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマー改修用注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマー改修用注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 																																																																																																																																	
	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 タイル部分張替え工法 タイル強替え工法 																																																																																																																																	
	欠損部	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマー改修用注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 エポキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル強替え工法 																																																																																																																																	
	タイル張り仕上げ 外壁		<ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 																																																																																																																																
	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マスチック塗材塗り 																																																																																																																																	
	目地		<ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 																																																																																																																																
	塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マスチック塗材塗り 																																																																																																																																
③ 改修工法等		<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 種類 自動式底圧エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () <p>材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築構造用注入エポキシ樹脂) ・低粘度形 ・中粘度形 コア抜取装置 行う 行わない ・抜取り個数 () ・抜取り部分補修方法 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> Uカットシール材充填工法 材料 シーリング用材充填 (PU-1 PU-2 ()) ・可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマー改修用モルタル充填 行う 行わない シール工法 材料 バテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 充填工法 材料 エポキシ樹脂モルタル ・ポリマー改修用モルタル モルタル塗替え工法 材料 質観目地材の適用及び形状 () 仕上げ厚 () アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数 (標準) () 材料 ステンレス鋼 (SUS304) () アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの本数及び注入の数 (標準) () 材料 ステンレス鋼 (SUS304) () 																																																																																																																																	
	4 塗り仕上げ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>呼び名</th><th>仕上げ形状</th><th>工法</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">薄付け仕上塗材</td><td rowspan="10">外装薄塗材E</td><td>砂面状</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>炒芋削状</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td>こて</td></tr> <tr><td>四凸状</td><td></td></tr> <tr><td>炒芋削状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>古波状</td><td></td></tr> <tr><td>着色骨材粉壁状</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td></td><td>こて</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="10">厚付け仕上塗材</td><td rowspan="10">外装厚塗材C</td><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>こて</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr><td>搔き落とし</td><td></td></tr> <tr><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>こて</td></tr> <tr> <td rowspan="10">複層仕上塗材</td><td rowspan="10">複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B</td><td>ゆず肌状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>こて</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="10">可とう形改修用 仕上塗材</td><td rowspan="10">複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B</td><td>ゆず肌状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> <tr><td>吹放し</td><td>吹付け</td></tr> <tr><td>凸部処理</td><td></td></tr> <tr><td>平たん状</td><td></td></tr> <tr><td>四凸状</td><td>ローラー</td></tr> <tr><td>ひき起し</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材質要盤 (kg/m²)</p> <p>マスチック塗材塗り A種 B種 仕上材塗り ()</p>	種類	呼び名	仕上げ形状	工法	薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	砂面状	吹付け	炒芋削状		平たん状	こて	四凸状		炒芋削状	ローラー	古波状		着色骨材粉壁状	吹付け		こて					厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	吹放し	吹付け	凸部処理		平たん状		四凸状	こて	ひき起し		搔き落とし		吹放し	吹付け	凸部処理		平たん状		四凸状	こて	複層仕上塗材	複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B	ゆず肌状	ローラー	凸部処理		平たん状		四凸状	ローラー	ひき起し		吹放し	吹付け	凸部処理		平たん状		四凸状	こて	ひき起し		可とう形改修用 仕上塗材	複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B	ゆず肌状	ローラー	凸部処理		平たん状		四凸状	ローラー	ひき起し		吹放し	吹付け	凸部処理		平たん状		四凸状	ローラー	ひき起し																																						
種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																																																																																																																
薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	砂面状	吹付け																																																																																																																																
		炒芋削状																																																																																																																																	
		平たん状	こて																																																																																																																																
		四凸状																																																																																																																																	
		炒芋削状	ローラー																																																																																																																																
		古波状																																																																																																																																	
		着色骨材粉壁状	吹付け																																																																																																																																
			こて																																																																																																																																
厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	吹放し	吹付け																																																																																																																																
		凸部処理																																																																																																																																	
		平たん状																																																																																																																																	
		四凸状	こて																																																																																																																																
		ひき起し																																																																																																																																	
		搔き落とし																																																																																																																																	
		吹放し	吹付け																																																																																																																																
		凸部処理																																																																																																																																	
		平たん状																																																																																																																																	
		四凸状	こて																																																																																																																																
複層仕上塗材	複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B	ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																
		凸部処理																																																																																																																																	
		平たん状																																																																																																																																	
		四凸状	ローラー																																																																																																																																
		ひき起し																																																																																																																																	
		吹放し	吹付け																																																																																																																																
		凸部処理																																																																																																																																	
		平たん状																																																																																																																																	
		四凸状	こて																																																																																																																																
		ひき起し																																																																																																																																	
可とう形改修用 仕上塗材	複層塗材E 複層塗材B 防水形複層塗材E 防水形複層塗材B	ゆず肌状	ローラー																																																																																																																																
		凸部処理																																																																																																																																	
		平たん状																																																																																																																																	
		四凸状	ローラー																																																																																																																																
		ひき起し																																																																																																																																	
		吹放し	吹付け																																																																																																																																
		凸部処理																																																																																																																																	
		平たん状																																																																																																																																	
		四凸状	ローラー																																																																																																																																
		ひき起し																																																																																																																																	

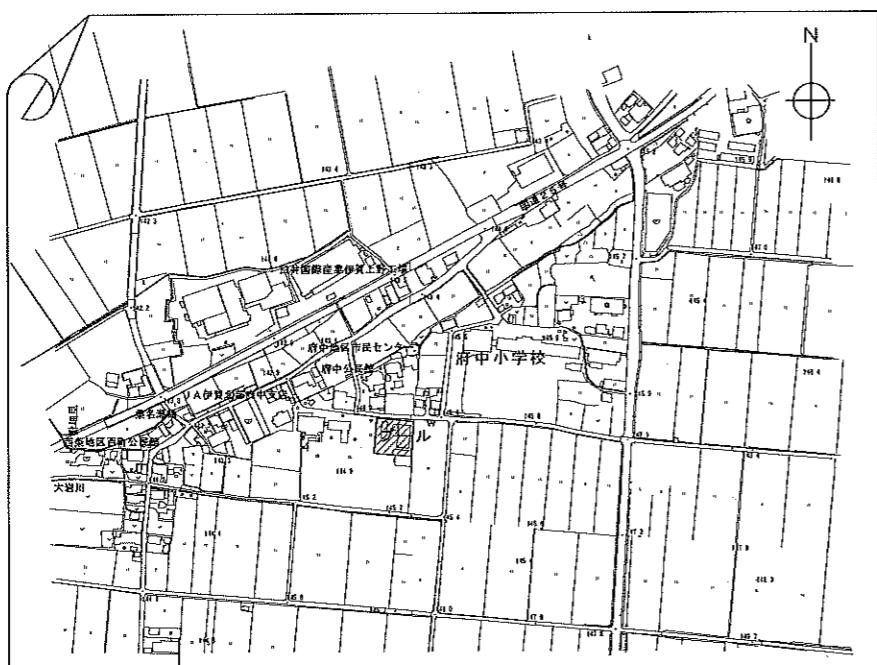
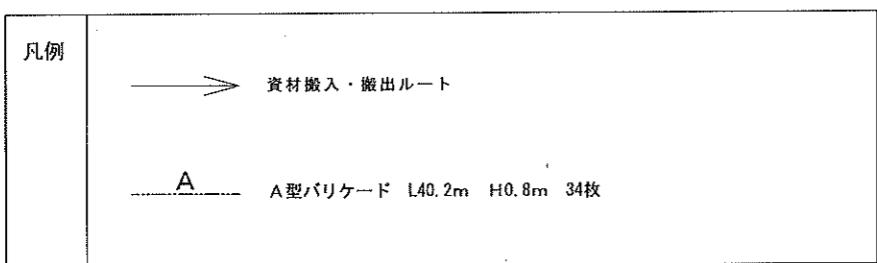
7 塗装改修工事	1 材料 (7.1.3) (b)	<ul style="list-style-type: none"> 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:) 																							
	2 下地調整 (7.2.1)～ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えでR B種の場合) ・ 図示(図面番号:)																							
	3 銀止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)～ (表7.3.4)	種別 <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>A種 B種 C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>A種 B種 C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>A種 B種 C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル、フロスター面</td> <td>A種 B種 C種</td> <td>行う</td> </tr> <tr> <td>コンクリート、ALCパネル面</td> <td>A種 B種 C種</td> <td>行う</td> </tr> <tr> <td>コンクリート、押出成形セメント板面</td> <td>A種 B種 C種</td> <td>行う</td> </tr> <tr> <td>セッコウボード、その他ボード面</td> <td>A種 B種 C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	下地	種別	ひび割れ部の補修	木部	A種 B種 C種		鉄鋼面	A種 B種 C種		亜鉛めっき鋼面	A種 B種 C種		モルタル、フロスター面	A種 B種 C種	行う	コンクリート、ALCパネル面	A種 B種 C種	行う	コンクリート、押出成形セメント板面	A種 B種 C種	行う	セッコウボード、その他ボード面	A種 B種 C種
下地	種別	ひび割れ部の補修																							
木部	A種 B種 C種																								
鉄鋼面	A種 B種 C種																								
亜鉛めっき鋼面	A種 B種 C種																								
モルタル、フロスター面	A種 B種 C種	行う																							
コンクリート、ALCパネル面	A種 B種 C種	行う																							
コンクリート、押出成形セメント板面	A種 B種 C種	行う																							
セッコウボード、その他ボード面	A種 B種 C種																								
4 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3)～ (7.4.5) (表7.4.1)～ (表7.4.3)	銀止め塗料種別 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 B種 C種																								
5 クリヤラッカ一塗り(CL) (7.5.2) (表7.5.1)	銀止め塗り種別 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種																								
6 アクリル樹脂系防水分散形塗料(HAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 A種 B種																								
7 耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)～ (7.8.4) (表7.8.1)～ (表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) 2級(シリコン系) 3級(ポリウレタン系) <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>A種 B種 C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>A種 B種 C種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>A-1種 A-2種 B-1種 B-2種 C-1種 C-2種</td> </tr> </tbody> </table>	下地	種別	鉄鋼面	A種 B種 C種	亜鉛めっき鋼面	A種 B種 C種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	A-1種 A-2種 B-1種 B-2種 C-1種 C-2種																
下地	種別																								
鉄鋼面	A種 B種 C種																								
亜鉛めっき鋼面	A種 B種 C種																								
コンクリート面及び押出成形セメント板面	A-1種 A-2種 B-1種 B-2種 C-1種 C-2種																								
8 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-Q) (7.9.2)～ (7.9.5) (表7.9.1)～ (表7.9.4)	種別 <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート、モルタル ・ ブラスター、セッコウボード、 その他のボード面</td> <td>A種 B種 C種 しみ止め()</td> </tr> <tr> <td>木部(屋内)</td> <td>A種 B種 C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(屋内)</td> <td>A種 B種 C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(屋内)</td> <td>A種 B種 C種</td> </tr> </tbody> </table>	下地	種別	コンクリート、モルタル ・ ブラスター、セッコウボード、 その他のボード面	A種 B種 C種 しみ止め()	木部(屋内)	A種 B種 C種	鉄鋼面(屋内)	A種 B種 C種	亜鉛めっき鋼面(屋内)	A種 B種 C種														
下地	種別																								
コンクリート、モルタル ・ ブラスター、セッコウボード、 その他のボード面	A種 B種 C種 しみ止め()																								
木部(屋内)	A種 B種 C種																								
鉄鋼面(屋内)	A種 B種 C種																								
亜鉛めっき鋼面(屋内)	A種 B種 C種																								
9 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 A種 B種 C種 しみ止め()																								
10 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 A種 B種 C種																								
11 ウレタン樹脂ワニス塗り(UQ) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 A種 B種																								
12 ラッカーエナメル塗り(LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別 A種 B種																								
13 木造保護塗料塗り(WP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別 A種 B種																								
8 の 5 耐 震 改 修 工 事	(あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2))	<p>種類</p> <p>○ 金属系 セットの方式 ○ 本体打込み式 (改良型 ○ 従来型)</p> <p>① あと施工アンカーワークの材料</p> <p>接着剤 引張耐力 せん断耐力 接合筋の種類、径、長さ</p> <p>接着系 カプセル型回転 打撃式 有機系 無機系</p> <p>接着及び埋込み深さ 図示(図面番号:)</p> <p>引張耐力 図示(図面番号:)</p> <p>せん断耐力 図示(図面番号:)</p> <p>アンカーワークの種類 図示(図面番号:)</p> <p>アンカーワークの新設壁内への定着長さ 図示(図面番号:)</p> <p>あと施工アンカーワークの性能確認試験 行う 行わない</p>																							
	(8.12.2) (8.12.4) (8.12.5)	<p>穿孔</p> <p>埋込み配管等の探査の方法</p> <p>○ 鉄筋探知機(金属検知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。</p> <p>あと施工アンカーワークの施工確認試験 ○ 実施する 実施しない</p> <p>確認試験方法 ○ 改修標準仕様書(8.12.5)による ()</p> <p>確認強度 ・ ()</p> <p>○ ブロック鉄筋と溶接接合すること</p> <p>場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーワークの異形差筋アンカーワーク ・ 接着系あと施工アンカーワークの異形差筋アンカーワーク</p> <p>径[mm] ・ D10</p> <p>長さ[mm] ・ 増打壁厚-40 ()</p> <p>嵌込み深さ[mm] ・ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ()</p> <p>間隔[mm] ・ 500×500</p> <p>シアコネクタとセバーレーターの兼用 兼用してもよい 兼用しない ()</p>																							
9 建 築 用 コン クリ ー ト ブ ロ ッ ク	(8.3.2)	<p>※ 空洞ブロック16 空洞ブロック16-W (8.2.2)</p> <p>※ 表8.3.1 及び下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>種別の記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 間仕切壁 地下二重壁 外壁 崩</td> <td>図示</td> <td>空洞ブロック 16</td> </tr> <tr> <td>・ 設備配管用ブロック積み</td> <td>100</td> <td>空洞ブロック 08</td> </tr> </tbody> </table>	適用箇所	厚さ(mm)	種別の記号	○ 間仕切壁 地下二重壁 外壁 崩	図示	空洞ブロック 16	・ 設備配管用ブロック積み	100	空洞ブロック 08														
適用箇所	厚さ(mm)	種別の記号																							
○ 間仕切壁 地下二重壁 外壁 崩	図示	空洞ブロック 16																							
・ 設備配管用ブロック積み	100	空洞ブロック 08																							
10 鉄 筋 工 事		<p>標準仕様は、 ○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(社団法人公共建築協会) ○ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ・ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。</p> <p>・ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ 定着長さは設計図書による。</p> <p>外観検査 ○ 有 無 引張試験 有 ○無 超音波深傷試験 有 ○無</p>																							
11 コン クリ ー ト 工 事		<p>(1) コンクリート</p> <p>標準仕様は、 ○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(社団法人公共建築協会) ・ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5</p> <p>○ 耐久設計基準強度F_dは、 短期 ○ 標準 長期 超長期</p> <p>○ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。</p> <p>○ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の確認を得ること。必要に応じて試験練を行ふ。</p> <p>○ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財)国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、 試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラー)にて報告する。</p>																							

特記		工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事	承認 印
		団名 (府中小学校) 特記仕様書3	
			図面提出日

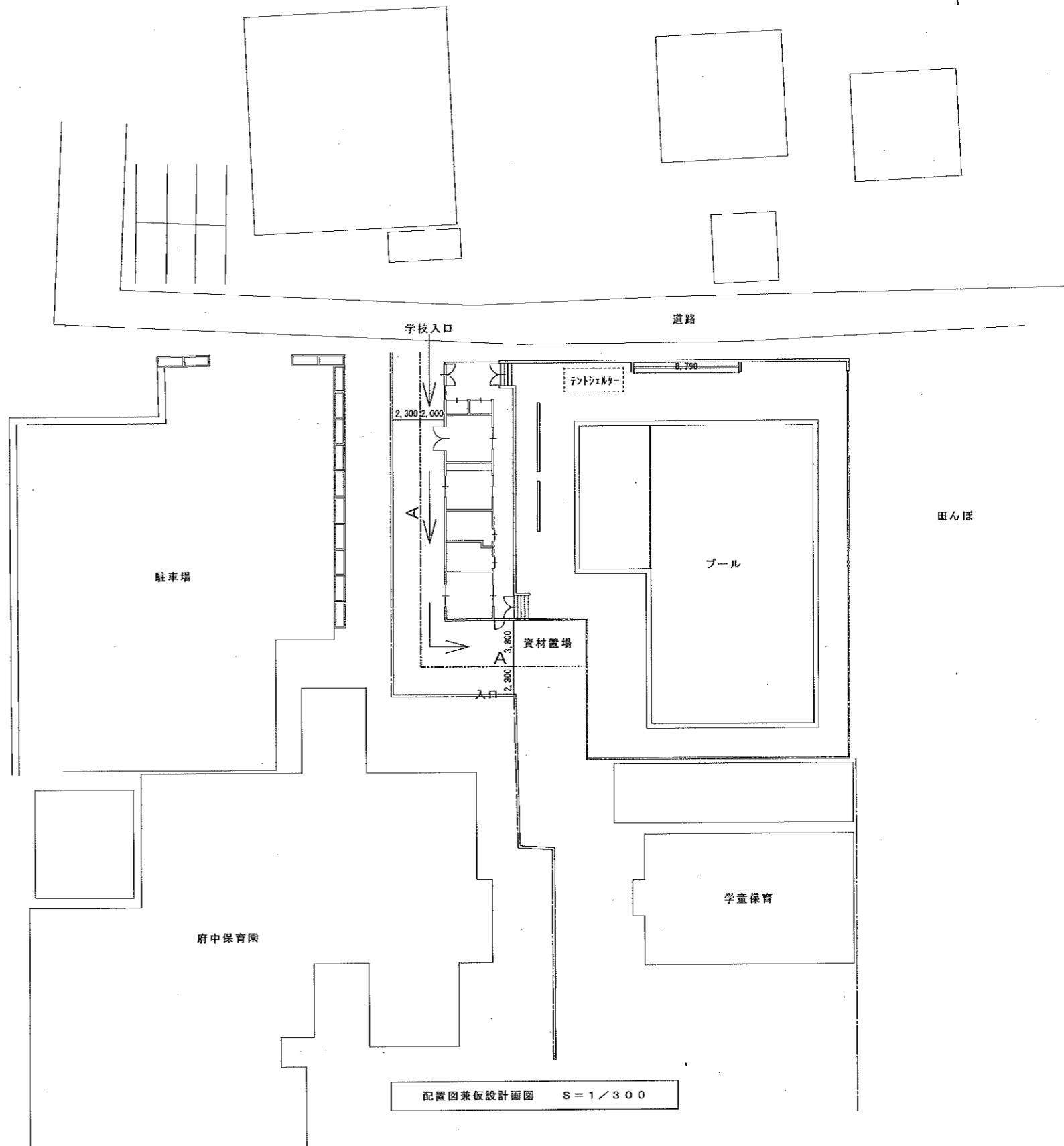


一留意事項一

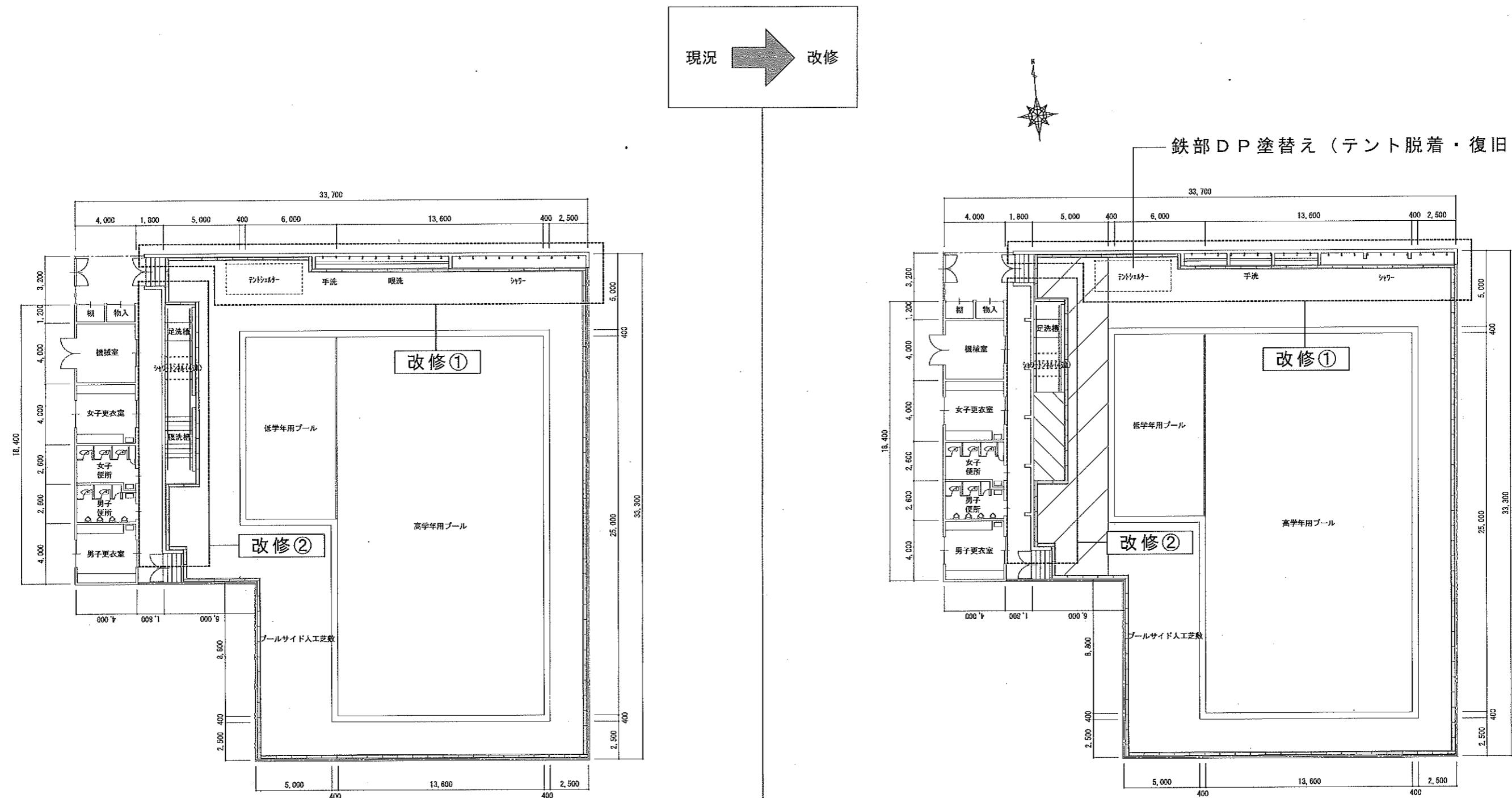
※1) 進入路が狭いので通行に注意すること。
 ※2) 仮設計画や作業員の駐車スペースは発注側と協議の上、決定すること。
 ※3) 交通誘導員を配置している際は、学校入り口から工事エリア入り口まで交通誘導員が工事車両を誘導すること。
 ※4) 必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。



付近見取図



特記	工事名	承認		管理建築士	印
		□	□		
	中瀬小学校他2校プール施設改修工事				
	(府立中学校) 配置図兼仮設計画図・付近見取図	1/300 (A2)	図面号 A-04	図面提出日	
		1/423 (A3)			



撤去概要

- 改修範囲内の既存ブロック塀の撤去。
- シャワー・手洗い・眼洗い・手摺の撤去。
- 控え壁の新設に伴う土間コンクリートの撤去。

<凡例>

□ 人工芝貼替範囲を示す。

▨ 人工芝貼新設範囲を示す。

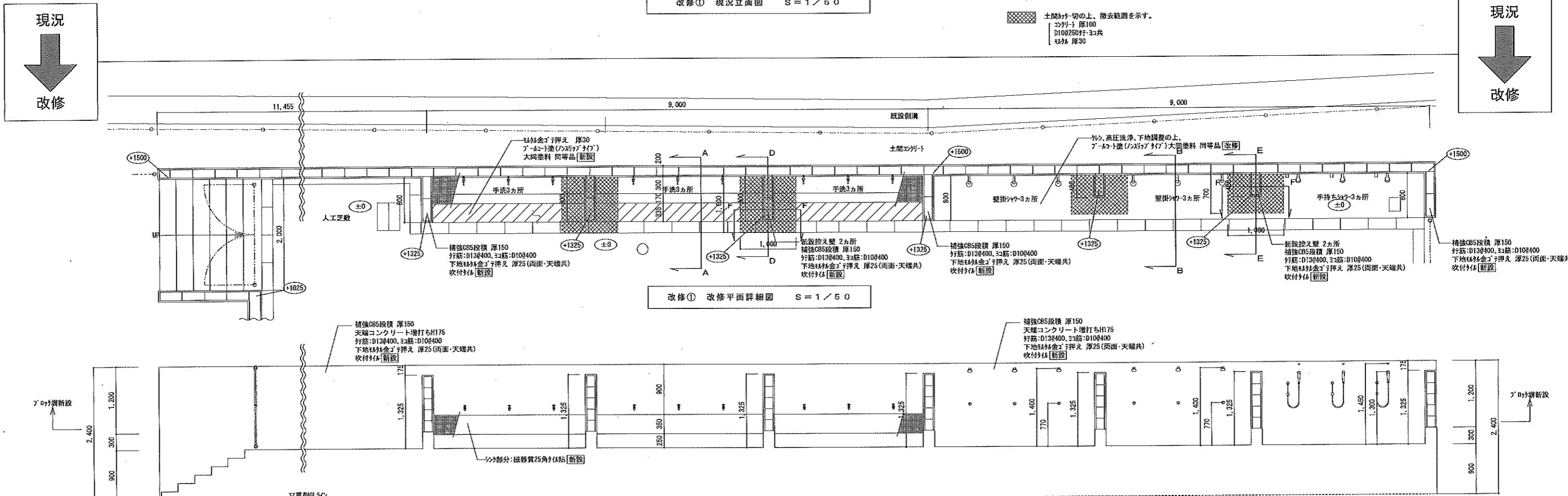
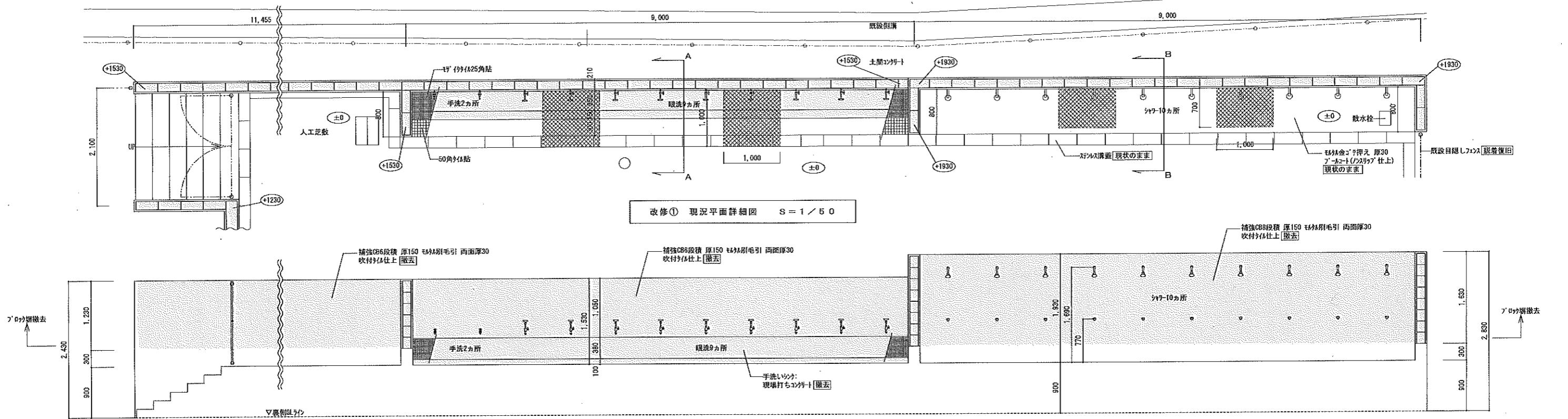
改修概要

- 改修範囲内の既存ブロック塀の新設
- シャワー・手洗い・手摺の新設。
- 控え壁の新設と、それに伴う土間コンクリートの復旧。
- 腰洗い槽の埋め戻し。
- テントシェルター塗り替え。

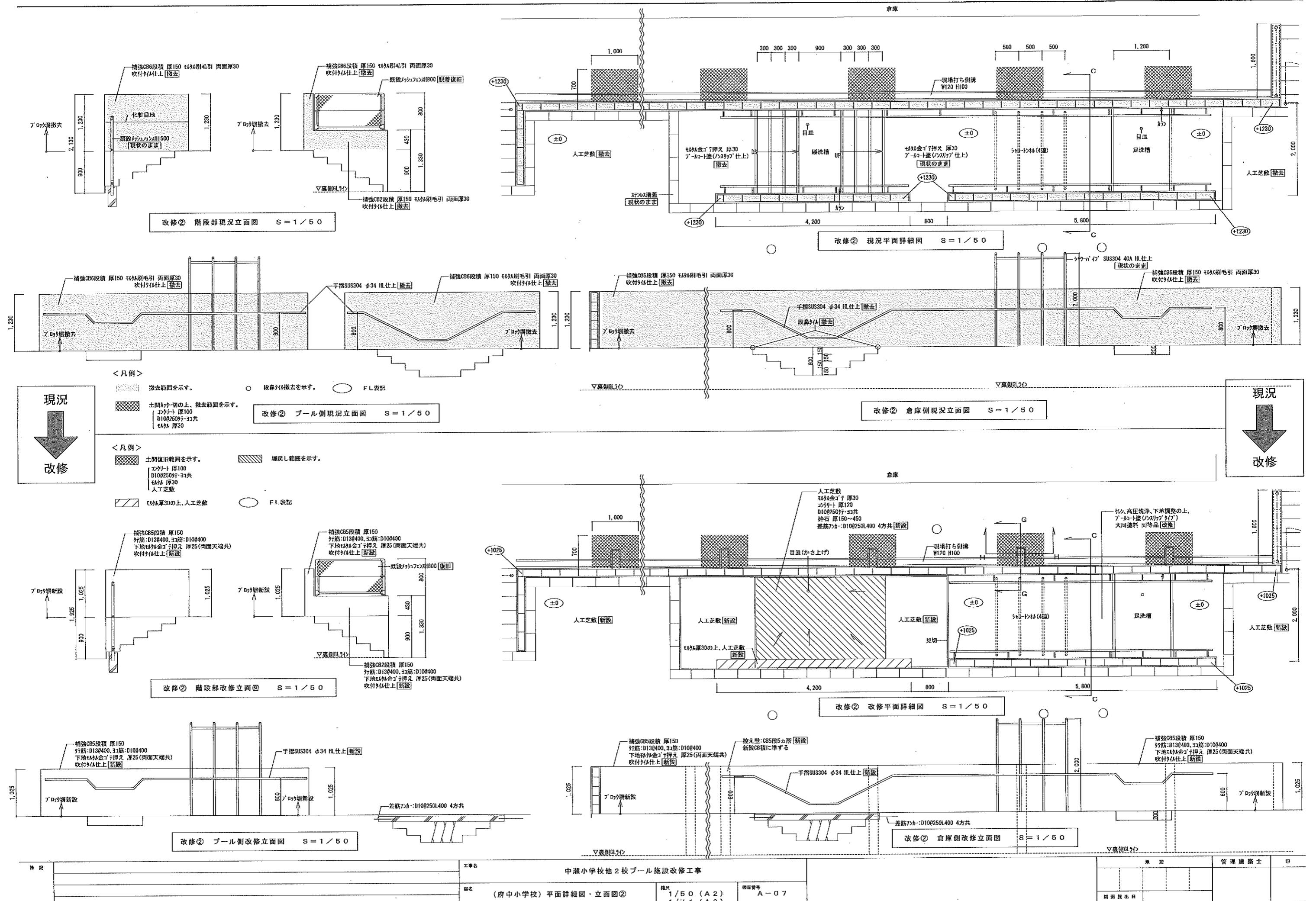
現況平面図 S = 1 / 200

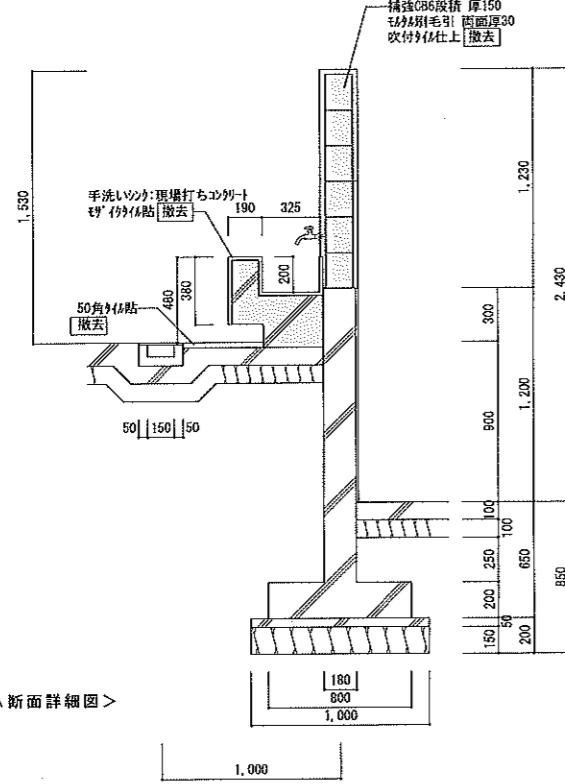
現況 → 改修

改修平面図 S = 1 / 200

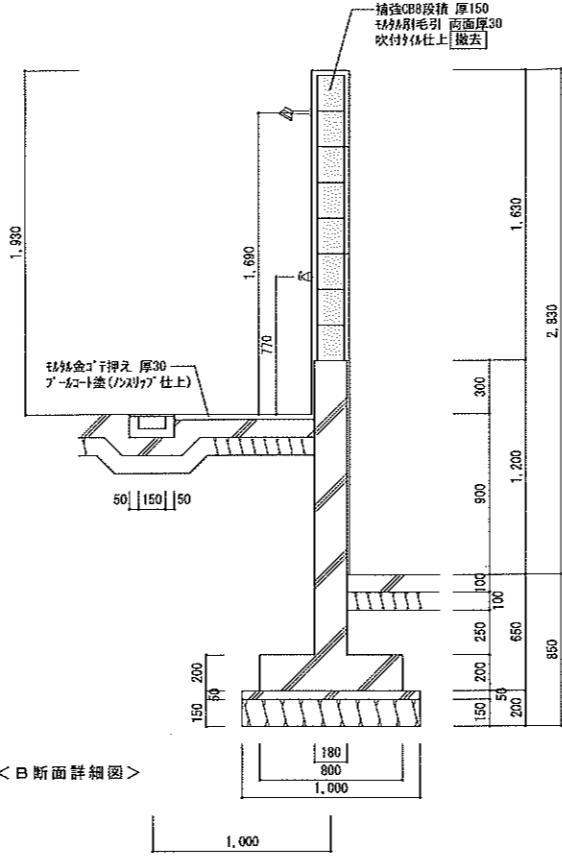


特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事				系認	管理建築士	印
		図名 (府中小学校) 平面詳細図・立面図①	縮尺 1/50 (A2) 1/71 (A3)	図面番号 A-06			
				四面提出日			

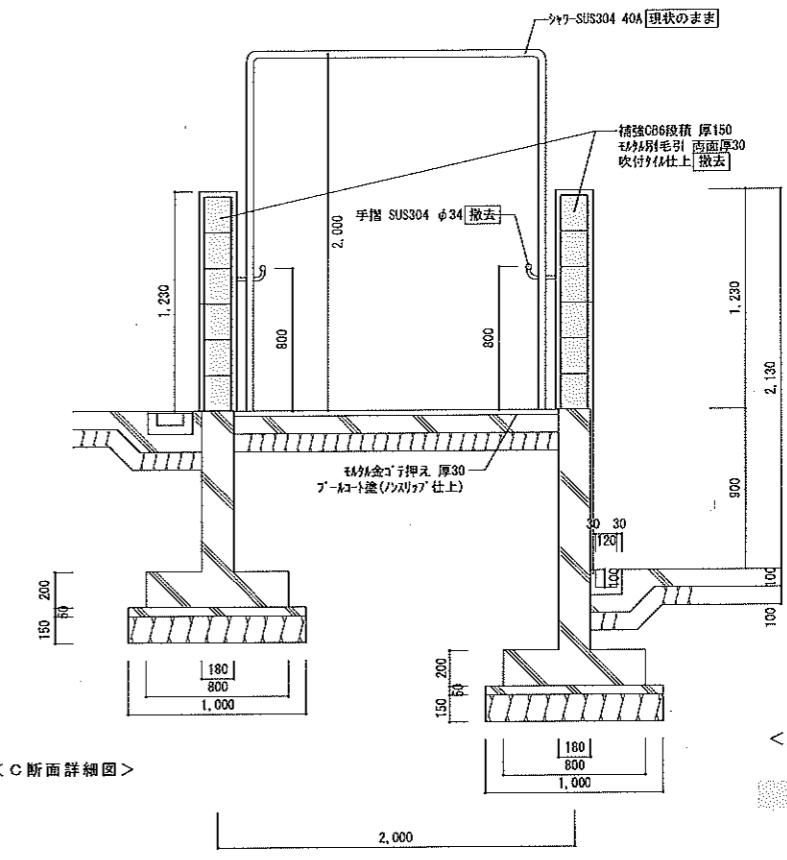




< A 断面詳細図 >



< B 断面詳細図 >

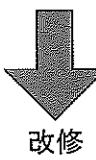


< C 断面詳細図 >

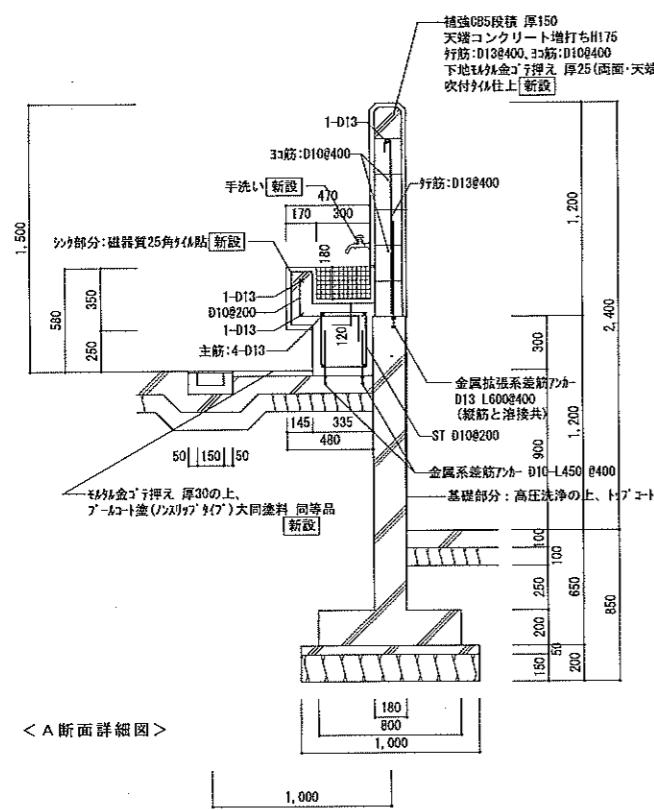
撤去範囲を示す。

現況断面詳細図 S = 1 / 3 0

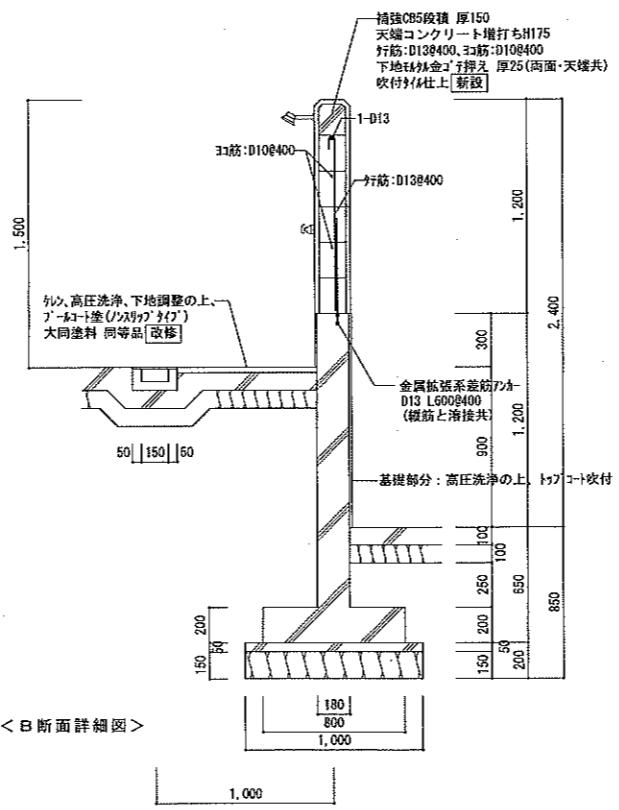
現況



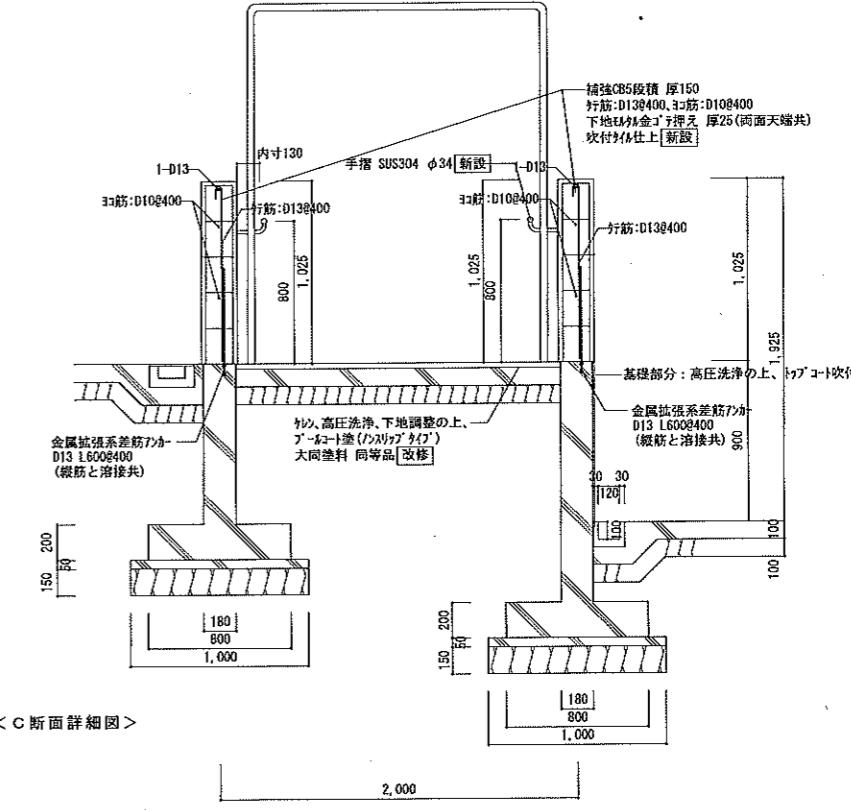
改修



< A 断面詳細図 >



< B 断面詳細図 >

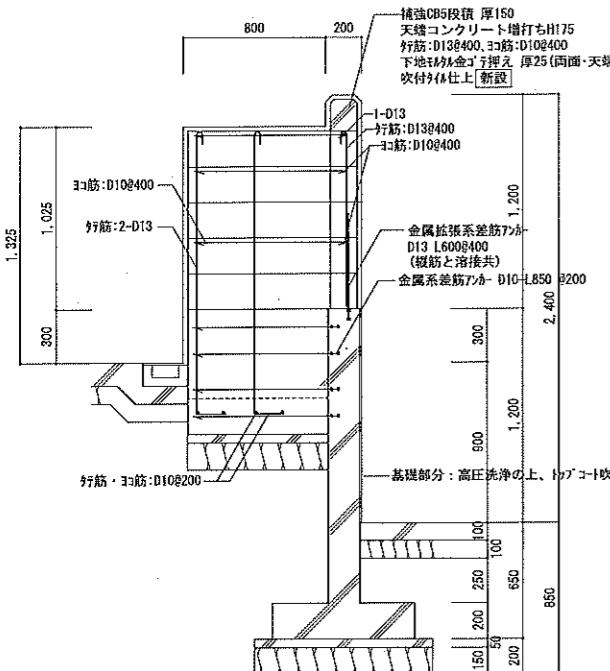


< C 断面詳細図 >

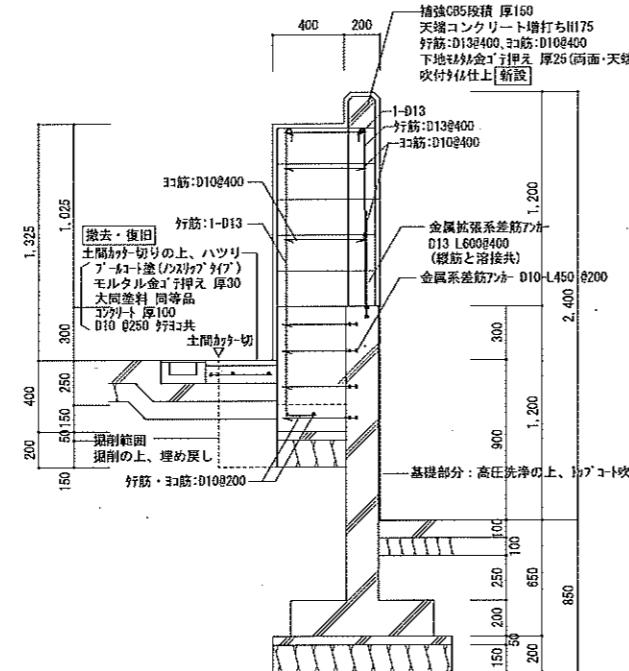
改修断面詳細図 S = 1 / 3 0

※金属板張系差筋/かーとCB積の筋筋は溶接接合すること

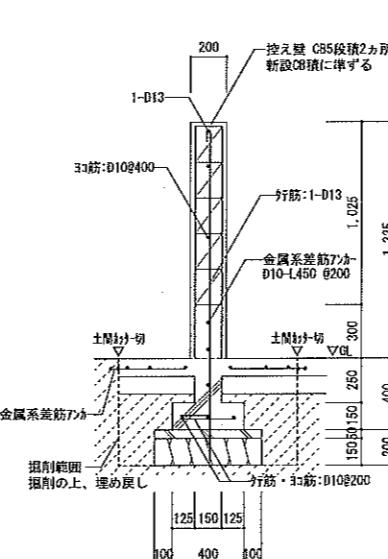
特記	工事名	図名	規格		系記	管理建築士	印
			1/30 (A2)	1/42 (A3)			
	中瀬小学校他2校プール施設改修工事	(府中小学校) 断面詳細図			A-08		



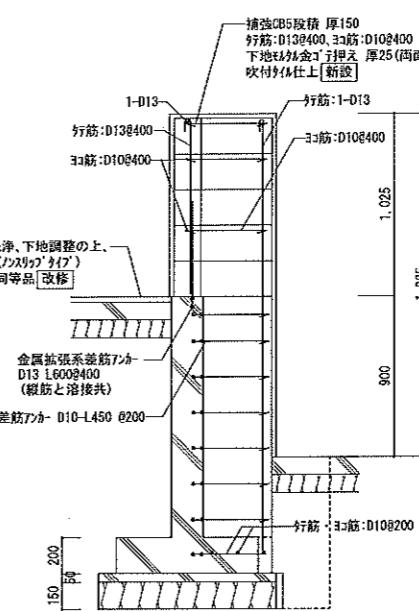
◀ D 断面詳図 ▶



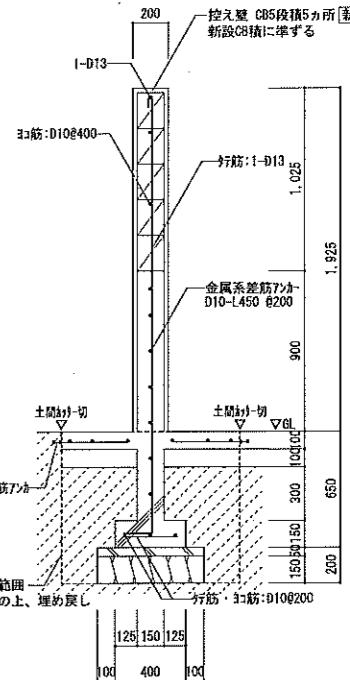
＜断面群図＞



断面詳細図



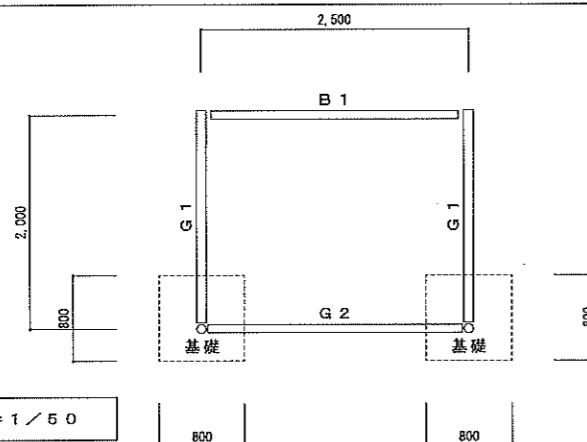
△G 断面詳細図



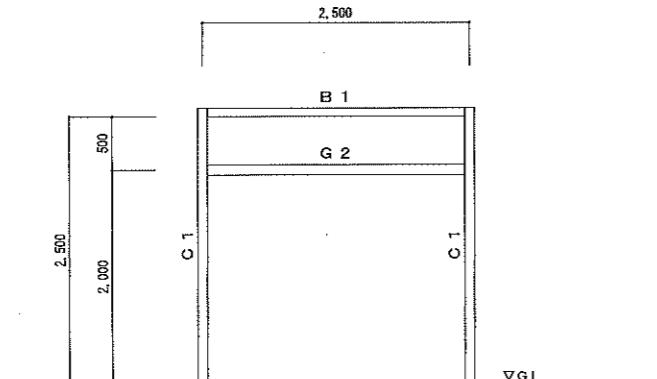
＜工断面群省図＞

新設控え壁詳細図

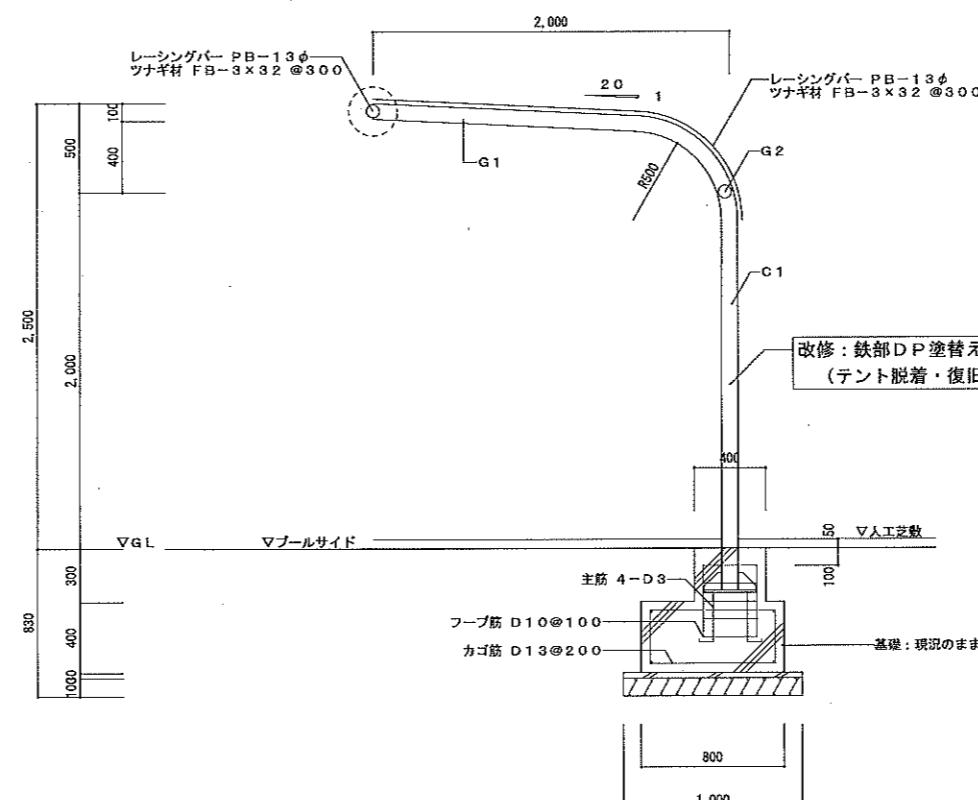
S = 1 / 30



テントシェルター平面図 S = 1 / 50



テントシェルター立面図 S=1/50



テントシェルター断面詳細図

の = 1 / 30

メンバーリスト	
C 1	P - 89.1 φ × 1.2 t
G 1	P - 89.1 φ × 4.2 t
G 2	P - 76.3 φ × 4.2 t
B 1	P - 76.3 φ × 4.2 t
膜材料	C種スカイマックス

機械設備工事特記仕様		(○印を付けたものを適用する。)		工事写真		排水設備		換気設備	
建築概要				工事写真		○排水方式		・屋内	
工事名称		中瀬小学校他2校プール施設改修工事(府中小学校)		・屋外		・分流方式		・合流方式	
工事場所		伊賀市東条 地内		○分流方式		・合流方式		・外気	
建物名		構造	階数	延面積(m ²)	備考	夏季		夏季	
小学校		RC造				26°C		96	
						冬季		22°C	
一般事項				完成写真		・屋内		・屋外	
適用仕様書		・日本建築協会編「建築設備工事共通仕様書」 ・空気調和・衛生設備工事標準仕様書」 ○国土交通大臣官房官房企画部監修「機械設備工事共通仕様書」平成20年度版		・分流方式		・合流方式		・外気	
優先順位		1. 現場説明事項、質疑応答書 2. 本特記仕様書 3. 設計図書 4. 工事共通仕様書		○分流方式		・合流方式		夏季	
申請手続		工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。		・屋外		・合流方式		夏季	
疑義		設計図書の誤記、記載漏れ又は面上に不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議すること。		○分流方式		・屋内		冬季	
変更		設計図書で明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。		○合流方式		・屋外		冬季	
完成図書		工事完成の上は各箇の試験、検査を受けて許可書類、成績表、工事写真、日報、材料後収集、完成写真、竣工図、取扱説明書等とりまとめ提出すること。		○合流方式		・屋内		冬季	
耐震基準		日本建築センター編「建築設備耐震設計・施工指針」によること。		○合流方式		・屋外		冬季	
特記事項				完成写真		・屋外		・屋内	
○地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。				完成写真		・屋外		・屋内	
○重盤機器及び配管等は、地盤時に水平移動、転倒、落下などがないように				完成写真		・屋外		・屋内	
「建築設備耐震設計指針」により施工する。				完成写真		・屋外		・屋内	
○防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。				完成写真		・屋外		・屋内	
○建物導入配管(給水、ガス、消火)は充分な可視性を有する直立吸込配管施工をおこなう。				完成写真		・屋外		・屋内	
○水密を要する部分を防水ストリップに用いる材料は、紙製の型枠を使用することができる。				完成写真		・屋外		・屋内	
○排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地3.0m以上、車両道路部6.0m以上とする。				完成写真		・屋外		・屋内	
○運動の伝播を防ぐ必要のある配管及び強制循環する水配管で管径6.5m以上の配管には、防振吊り具又は防振支持金物を設けるものとする。				完成写真		・屋外		・屋内	
○既設コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。				完成写真		・屋外		・屋内	
○土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。				完成写真		・屋外		・屋内	
○屋外露出及び多湿箇所(トレリーピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶接並巻メッシュ仕上げとする。				完成写真		・屋外		・屋内	
○配管途中、業所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にする。				完成写真		・屋外		・屋内	
○系統が分かれるように、必要箇所(機械室、PS内等)に文字書き、矢印記入・バルブ札取付をおこなう。				完成写真		・屋外		・屋内	
○機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。				完成写真		・屋外		・屋内	
○配管に空気を溜めると危険のある箇所には、エア抜き弁を設置する。				完成写真		・屋外		・屋内	
○屋外機器設置基盤のアンカーボルトは、ケミカルアンカー(ステンレス製)とする。				完成写真		・屋外		・屋内	
○工事着工までに諸官庁へ工事範囲、工事期間の詳細を報告する				完成写真		・屋外		・屋内	
○本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて請負者の負担とする。				完成写真		・屋外		・屋内	
共通事項				完成写真		・屋外		・屋内	
保温工事		・保温施工範囲は共通仕様書による。		完成写真		・屋外		・屋内	
○保温施工種別		・共通仕様書による。		完成写真		・屋外		・屋内	
○下表による。(但し機器、煙道は共通仕様書による)				完成写真		・屋外		・屋内	
○受水栓		本体 FRP製		・一体型		・複合板		・単板	
屋内露出		グラスウール保溫筒 合成樹脂製カバー		・バネル型		・複合板		・単板	
屋外露出		多湿箇所 PS		保溫筒 SUS板仕上げ		・バネル型		・バネル型	
天井・PS内		グラスウール保溫筒 アルミガラスクロス		・バネル型		・複合板		・単板	
床下・暗渠内		保溫筒 アルミガラスクロス		・バネル型		・複合板		・単板	
○保温材の厚さ		・共通仕様書による。		・スチール製		・スチール製		・スチール製	
80A以下		20mm		給排水管 給湯管 淋水管 ドレン管		・化粧ビニル管 (地中部・暗渠) (H1・VP・ボリ管)		・化粧ビニル管 (地中部・暗渠) (H1・VP・ボリ管)	
100~150A		25mm		消火管 (但し屋外のみ)		・やし工法 (・架橋ボリ管(被覆)) 屋蓋立下りり部		・やし工法 (・架橋ボリ管(被覆)) 屋蓋立下りり部	
200A以上		40mm		その他		・JIS 5Kg f/cm ² JIS 10Kg f/cm ²		・JIS 5Kg f/cm ² JIS 10Kg f/cm ²	
○水栓		・量水栓		・貯水栓		・貯水栓		・貯水栓	
25A以下		30mm		冷水管 冷温水管		・化粧ビニル管 (熱交換器裏)			

図示記号

記号	名称
— — —	給水管
— — —	排水管
○×	給水栓
△△ ⊗	弁類
⊖	床上掃除口
◎	排水金物

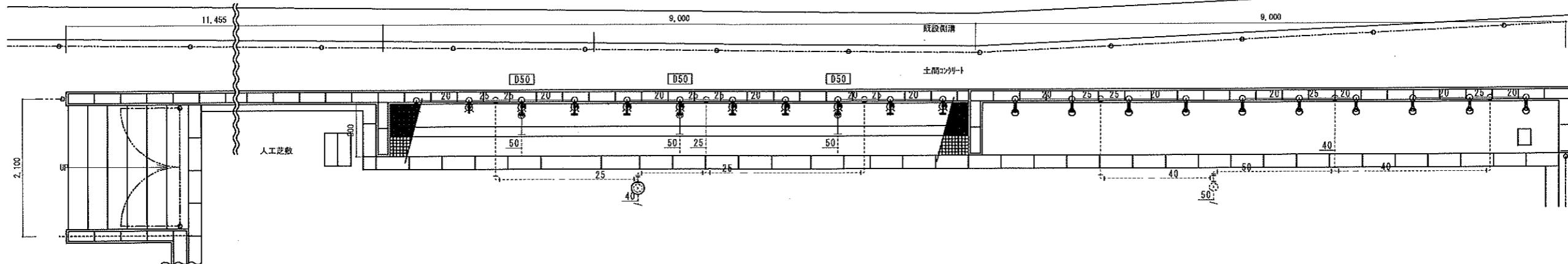
衛生器具表

名称	品番	附属品	外部	合計
横水栓	LF-7R-13	吐水口回転形	10	10
固定シャワー	BF-4R	BF-2S-13(埋込形止水栓)	9	9

*衛生器具型番は参考とし、監督員の指示（器具の調整等）に従うものとする。

特記

		工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事			系属 []	管理建築士 印
		団名 (府中小学校) 図示記号・衛生器具表	規尺 N S	図面番号 M-02		
					図面提出日	

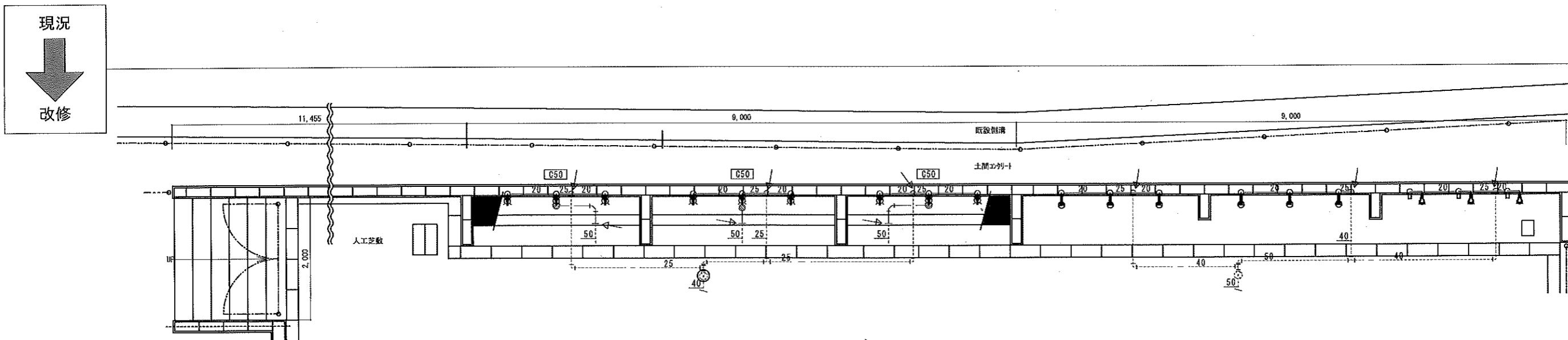


外部 既存機器表		
単水栓	2	撤去
洗眼水栓	9	撤去
シャワー水栓	10	撤去

凡例
今回撤去箇所を示す
既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
(既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。

改修① 現況平面詳細図 S = 1 / 50



改修① 改修平面詳細図 S = 1 / 50

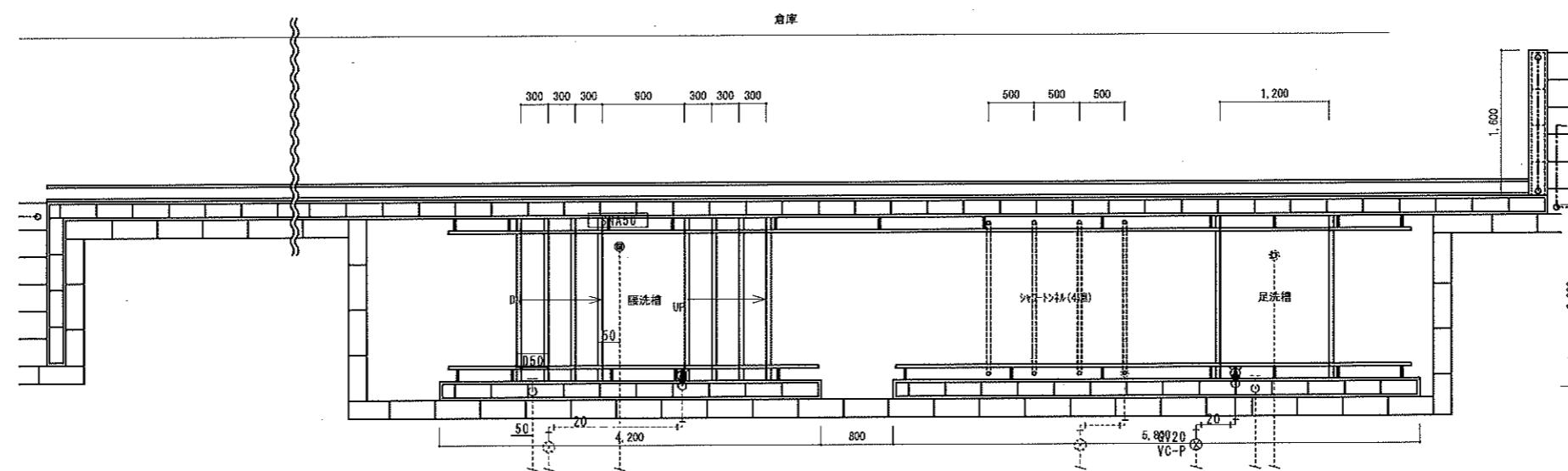
凡例
今回改修箇所を示す
既存箇所を示す
既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
土間及びブロック復旧は建築工事とする。

特記	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
		図名	規格	図面番号			
	(府中小学校) 平面詳細図① 給排水衛生設備	1/50 (A2) 1/71 (A3)	M-03				

凡例	
——	今回撤去箇所を示す
-----	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
(既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。

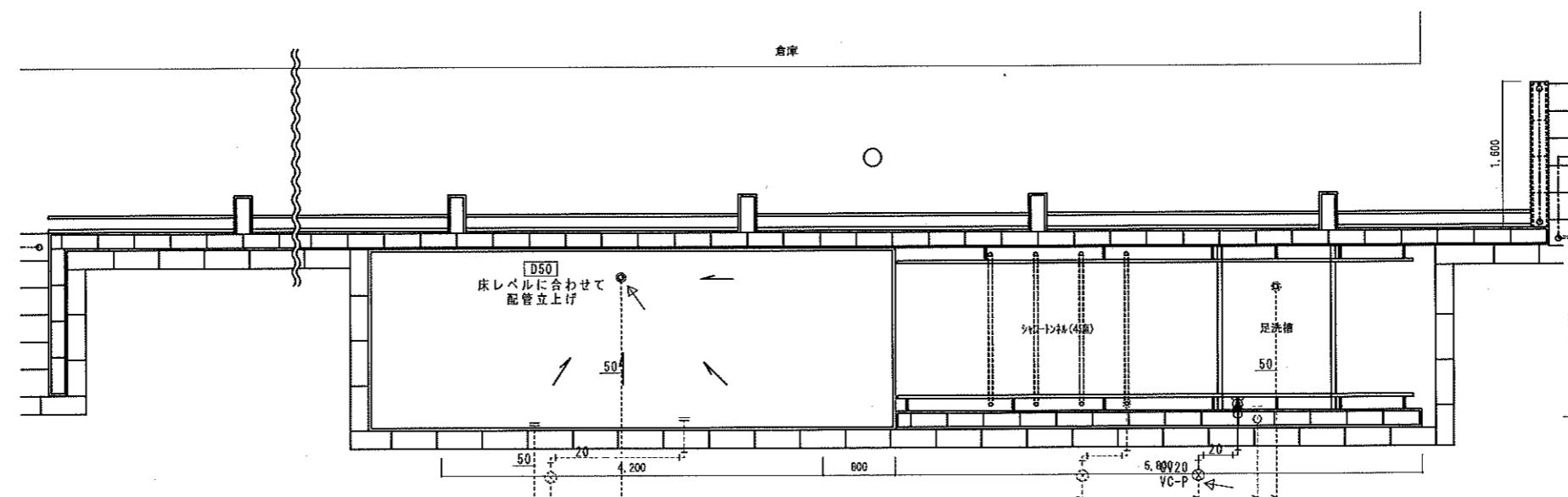


現況
↓
改修

洗場 既存機器表
単水栓 2 撤去

改修② 現況平面詳細図 S = 1 / 50

現況
↓
改修



凡例	
——	今回改修箇所を示す
-----	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。

改修② 改修平面詳細図 S = 1 / 50

特記	工程名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
		図名	規格	図面番号			
		(府中小学校) 平面詳細図② 給排水衛生設備	1/50 (A2) 1/71 (A3)	M-04			

三訪小学校

図面リスト

No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	図面リスト	M-01	特記仕様書
A-01	特記仕様書1	M-02	図示記号・衛生器具表
A-02	特記仕様書2	M-03	平面詳細図 給排水衛生設備
A-03	特記仕様書3		
A-04	配置図兼仮設計画図・付近見取図		
A-05	平面図		
A-06	平面詳細図・立面図		
A-07	断面詳細図		

特記	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事	図名 (三訪小学校) 図面リスト	基尺 N.S.	図面番号 A-00	承認	管理建築士	印

工事特記仕様書(改修)	
I. 工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事
II. 工事概要	三防小学校
1. 工事場所	三重県伊賀市三田1652
2. 施工面積	一 m ²
3. 工事内容	プール等コンクリートブロック塀 C B造 建築面積 延べ面積 工事項目
構造	一 m ²
建築面積	一 m ²
延べ面積	一 m ²
工事項目	プール等コンクリートブロック塀改修 プール等コンクリートブロック塀改修に伴う電気設備工事、機械設備工事

III. 建築改修工事仕様

1. 共通仕様
箇面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 平成28年版(以下「改修標準仕様書」という。)による。

2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の()内表示番号は改修仕様の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項		
		①	②	
一般共通事項	① 適用基準等	1) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成28年版) 2) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成28年版)		
	② 施工条件	③ 監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)	
	3. 部分引渡し、部分使用	・ 部分引き渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分 () 時 様 (平成 年 月 日 ~) 打合せによる		
	4. 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・ 発掘調査等の実施あり ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり		
	⑤ 発生材の処理等	本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規格が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年6月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規格に該当する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法	(1.3.12)	
		工事	作業の有無	分別解体等の方法
		造成等	・ 有・無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
		基礎・基礎伏げい	○ 有・無	○ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用
		上部構造部分・外装	○ 有・無	○ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用
		屋根	・ 有・無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
	建築設備・内装等	○ 有・無	○ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	
	その他 ()	・ 有・無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	
		・ 引き渡しを要するもの ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 現場において再利用を図るもの ・ 再資源化を図るもの	・ 有 () ・ 有 () 处理方法 () ・ 有 () ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材	
⑥ 建設副産物情報交換システムの利用	再生資源の又は建設副産物の搬出がある場合、発注者は発注時に工事請負代金額が500万円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」及び「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にJAGISが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。(マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。) 成形板等の解体・撤去にあたっては、事前にアスベスト含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.6)に従い処理する。			
7. 三重県産業廃棄物報	本工事には産業廃棄物相当分が計上されていないため、発注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付證明書を返付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の累計)を超えて請求することはできない。			
8. 電気保安技術者	適用する	(1.3.9)		
9. 技能士	職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。	(1.6.2)		
⑩ 施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ・ 工種別の特記による	(1.5.2)		

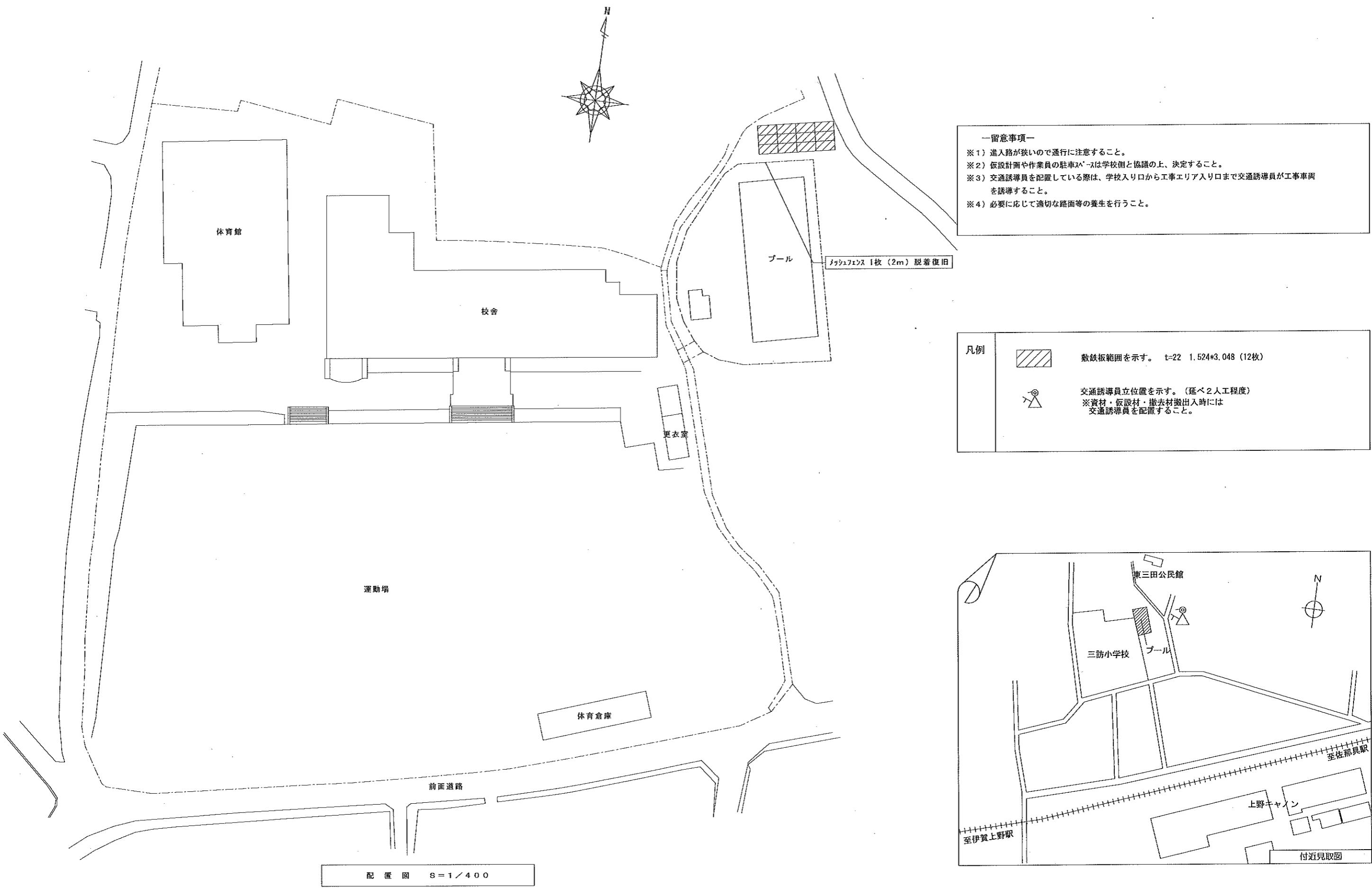
1.1 調査のための 破壊部分の補 修 (1.5.3)	補修方法 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	
⑬ 建築材料等	1) 木工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新商品とするほか「建築材料・設備機材等品質性性能評価事務建築材料等評価名簿」(最新版)(以下「評価名簿」という。)と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。 2) 木工事に使用する建設資材の調達にあたっては、施設県内の取扱業者から購入するよう努めること。 3) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドラインに準拠した証明書を監督員に提出すること。 4) 木工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね村認証機構が認証する「あかね村」の優先利用に努めること。 5) 木工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆以上とする。 6) 下記製品を木工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。 (認定製品の品名:) 7) 下記製品を木工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 (認定製品の品名:)	
1.3 化学物質の濃度測定 (1.6.9)	測定対象化学物質(●で示したものとする。) 通用 施設用途 ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン スチレン ベンゼン 学校、教育施設 ● ● ● ● ● ● 住宅 ● ● ● ● ● ● その他 ● ● ● ● ● ●	
1.4 特別な材料の工法	測定対象室及び測定個所数 ・ 図示(図面番号:) ・ ()	
1.5 騒音・振動の防止	測定方法 () ・ バッジ法 報告書提出部数 2部	
1.6 工事写真	改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。	
1.7 完成図等 (1.8.2)	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。	
1.8 完成写真	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
1.9 電子納品	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.9 設備工事の取扱い	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.10 建築基準法に基づき定まる 圧縮及び積雪 荷重	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.11 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.12 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.13 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.14 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.15 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.16 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.17 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.18 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.19 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.20 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.21 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.22 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.23 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.24 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.25 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.26 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.27 その他の (機械工期)	監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ~ 時 ・ 現場入場 8時40分以降 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 ・ 案内、休憩はグラウンド内の車両通行は出来ない。詳細については別途協議すること。	(1.3.5)
2.28 工事の一時中止	工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン(案)」(平成27年6月 國土交通省)による。 三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には	

④ タ ト 壁 改 修 工 事	1 施工数量調査 (4.1.4)	<ul style="list-style-type: none"> 行う 行かない 調査範囲 全面 () 調査項目 ひび割れ部 (幅 0.2mm ~ 1.0mm 以上) はがれ及びく落ち部分 浮き部 調査方法 打診、目視及びクラックスケール等 (是場 ゴンドラ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付) 																									
	2 改修工法の種類 (4.1.5)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>外壁</th> <th>種類</th> <th>改修工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート打放し仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 </td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>充填工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モルタル塗り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 </td> </tr> <tr> <td>浮き部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 充填工法 モルタル塗替え工法 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">タイル張り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 </td> </tr> <tr> <td>浮き部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">タイル張り仕上げ外壁</td> <td>欠損部</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 </td> </tr> <tr> <td>目地</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 エポキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 </td> </tr> <tr> <td>塗り仕上げ外壁</td> <td>新規仕上げ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マスチック塗材塗り </td></tr> </tbody> </table>	外壁	種類	改修工法	コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 	欠損部	充填工法	モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> 充填工法 モルタル塗替え工法 	タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 	タイル張り仕上げ外壁	欠損部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 	目地	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 エポキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 	塗り仕上げ外壁	新規仕上げ
外壁	種類	改修工法																									
コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 																									
	欠損部	充填工法																									
モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 																									
	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> 充填工法 モルタル塗替え工法 																									
タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 																									
	浮き部	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法 																									
タイル張り仕上げ外壁	欠損部	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 																									
	目地	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 エポキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 																									
塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法 薄付け仕上塗材塗り 厚付け仕上塗材塗り 複層仕上塗材塗り 可とう形改修用仕上塗材塗り 各種塗料塗り マスチック塗材塗り 																									
③ 改修工法等 (4.2.2) (a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 種類 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 <ul style="list-style-type: none"> 注入量 () 注入間隔 () 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入口間隔 () 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入口間隔 () 材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築改修用注入エポキシ樹脂) <ul style="list-style-type: none"> 低粘度形 中粘度形 コア抜取検査 行う 行わない <ul style="list-style-type: none"> 抜取り箇数 () 抜取り部分補修方法 () 																										
(4.2.2) (b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)	<ul style="list-style-type: none"> Uカットシール材充填工法 材料 シーリング用材充填 <ul style="list-style-type: none"> (PU-1 PU-2 ()) 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 <ul style="list-style-type: none"> 行う 行わない 																										
(4.2.2) (c) (4.3.6) (4.4.7)	<ul style="list-style-type: none"> シール工法 材料 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂 																										
(4.2.2) (d) (4.3.7) (4.4.8)	<ul style="list-style-type: none"> 充填工法 材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル 																										
(4.2.2) (e) (4.4.9)	<ul style="list-style-type: none"> モルタル塗替え工法 材料 聚合目地材の適用及び形状 () <ul style="list-style-type: none"> 仕上げ厚 () 																										
(4.2.2) (e) (4.4.10) (4.4.11)	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンの本数 標準 () 材料 ステンレス鋼 (SUS304) () 																										
(4.2.2) (e) (4.4.11) (4.4.12)	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 <ul style="list-style-type: none"> アンカーピンの本数及び注入口の数 標準 () 材料 ステンレス鋼 (SUS304) () 																										

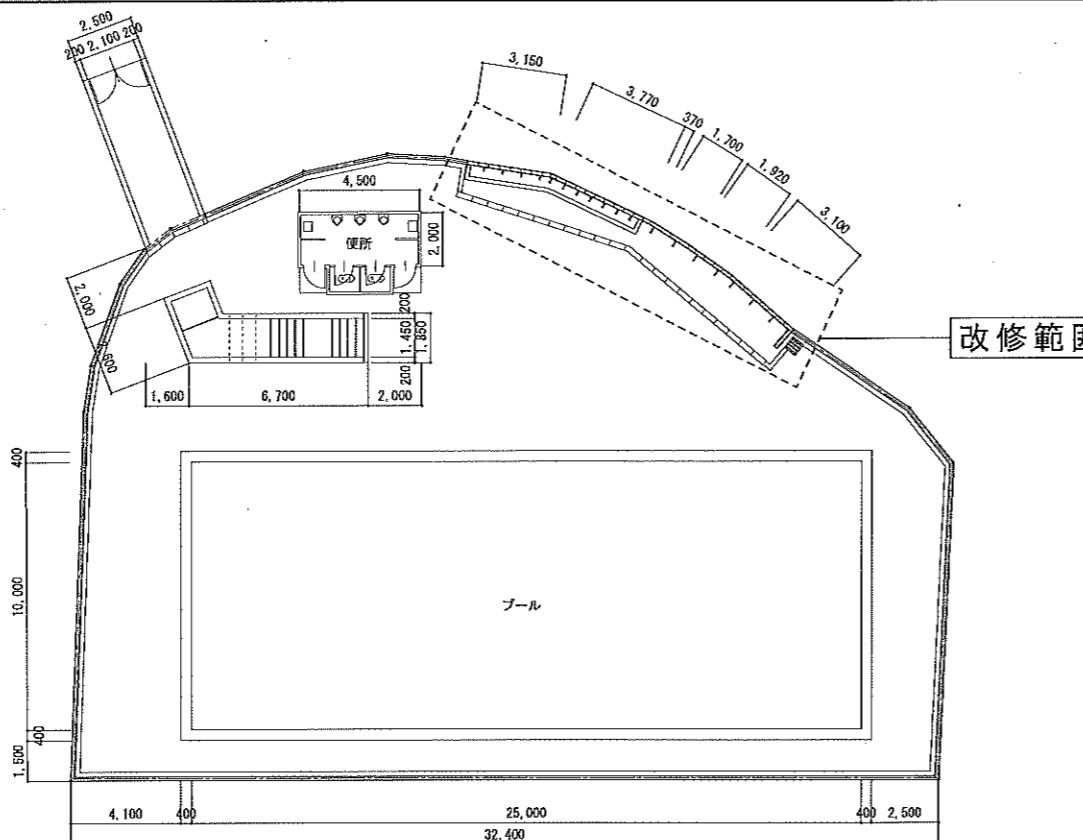
	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカービンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ () 																																																																																			
(4.2.2) (f) (4.4.13) (図4.4.3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注入口付アンカービンニング部分エボキシ樹脂注入工法 注入口付アンカービンの本数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ () 呼び径 ・ 6mm ・ () 																																																																																			
(4.2.2) (f) (4.4.14) (図4.4.4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注入口付アンカービンニング全面エボキシ樹脂注入工法 注入口付アンカービンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ () 呼び径 ・ 6mm ・ () 																																																																																			
(4.2.2) (f) (4.4.15) (図4.4.4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注入口付アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカービンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ () 材料 ・ ポリマーセメントスラリー () ・ 注入口付アンカービン () ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ () 呼び径 ・ 6mm ・ () 																																																																																			
(4.2.2) (h) (4.5.7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイル部分張替え工法 材料 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 变成シリコーン樹脂、エボキシ樹脂、ポリウレタン樹脂 																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">用途による区分</th> <th colspan="3">区分</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">標準・特注色</th> <th rowspan="2">耐凍害性有無</th> </tr> <tr> <th>I類(磁器)</th> <th>II類(せっ器)</th> <th>III類(陶器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無	I類(磁器)	II類(せっ器)	III類(陶器)																																																																						
施工箇所	形状寸法					工法	用途による区分	区分				役物	標準・特注色	耐凍害性有無																																																																						
		I類(磁器)	II類(せっ器)	III類(陶器)																																																																																
(4.2.2) (h) (4.5.8) (図4.5.4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役物 () ・ 一体成形 () ・ 接着加工 () ・ 試験張り () ・ 行う () ・ 行わない () ・ 見本焼き () ・ 行う () ・ 行わない () ・ タイル張替え工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">タイルの種別</th> <th rowspan="2">タイルの大きさ</th> <th rowspan="2">工法</th> <th colspan="2">塗り厚(mm)</th> </tr> <tr> <th>I類(磁器)</th> <th>II類(せっ器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 外装 タイル</td> <td>小口以上二丁掛け以下</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 密着張り 改良積み上げ張り 改良圧着張り </td> <td>5~8</td> <td>4~7</td> </tr> <tr> <td>・ ユニットタイル</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 25mm角を越え小口未満 小口未満 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> マスク張り モザイクタイル貼り </td> <td>3~4</td> <td>3~5</td> </tr> </tbody> </table>	タイルの種別	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)		I類(磁器)	II類(せっ器)	・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	<ul style="list-style-type: none"> 密着張り 改良積み上げ張り 改良圧着張り 	5~8	4~7	・ ユニットタイル	<ul style="list-style-type: none"> 25mm角を越え小口未満 小口未満 	<ul style="list-style-type: none"> マスク張り モザイクタイル貼り 	3~4	3~5																																																																		
タイルの種別	タイルの大きさ				工法	塗り厚(mm)																																																																														
		I類(磁器)	II類(せっ器)																																																																																	
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	<ul style="list-style-type: none"> 密着張り 改良積み上げ張り 改良圧着張り 	5~8	4~7																																																																																
・ ユニットタイル	<ul style="list-style-type: none"> 25mm角を越え小口未満 小口未満 	<ul style="list-style-type: none"> マスク張り モザイクタイル貼り 	3~4	3~5																																																																																
(4.5.15)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注入口付アンカービンニングエボキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカービンの本数 () 本) ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地 (位置 寸法 小学校プール等コンクリートブロック塀改修工事 (中瀬小学校他2校) 検査 シーリング接着性試験 ・ 行う () ・ 簡易接着性試験 () ・ 引張接着性試験 () 																																																																																			
④ 塗り仕上げ (4.2.2) (j) (図4.2.4(その1)) (その2))	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げ形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">薄付け仕上塗材</td> <td rowspan="5">外装薄塗材E</td> <td>・ 砂壁状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ さざ波状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td>・ 着色骨材砂壁状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">厚付け仕上塗材</td> <td rowspan="5">外装厚塗材C</td> <td>・ 吹放し</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ ひき起し</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ 搾き落とし</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">複層仕上塗材</td> <td rowspan="5">外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E</td> <td>・ 吹放し</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td>・ 凹凸状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ ひき起し</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 複層塗材E</td> <td>・ ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ 複層塗材EZ</td> <td>・ 凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 防水形複層塗材E</td> <td>・ 平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td>・ 防水形複層塗材EZ</td> <td>・ 凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">可とう形改修用 仕上塗材</td> <td>・ 可とう形改修塗材E</td> <td>・ 平たん状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ 可とう形改修塗材EZ</td> <td>・ さざ波状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ 可とう形改修塗材E</td> <td>・ ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table>	種類	呼び名	仕上げ形状	工法	薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け	・ ゆず肌状	吹付け	・ 平たん状	こて	・ 凹凸状	ローラー	・ ゆず肌状	吹付け	・ さざ波状	こて	・ 着色骨材砂壁状	吹付け	・ ()	・ ()	・ ()	厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	・ 吹放し	吹付け	・ 凸部処理	吹付け	・ 平たん状	こて	・ 凹凸状	ローラー	・ ひき起し	ローラー	・ 搾き落とし	吹付け	・ ()	・ ()	・ ()	複層仕上塗材	外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E	・ 吹放し	吹付け	・ 凸部処理	吹付け	・ 平たん状	こて	・ 凹凸状	ローラー	・ ひき起し	ローラー	・ ()	・ ()	・ ()	・ 複層塗材E	・ ゆず肌状	ローラー	・ 複層塗材EZ	・ 凸部処理	吹付け	・ 防水形複層塗材E	・ 平たん状	こて	・ 防水形複層塗材EZ	・ 凹凸模様	吹付け	・ ()	・ ()	・ ()	可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E	・ 平たん状	ローラー	・ 可とう形改修塗材EZ	・ さざ波状	ローラー	・ 可とう形改修塗材E	・ ゆず肌状	吹付け	・ ()	・ ()	・ ()
種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																																																																	
薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け																																																																																	
		・ ゆず肌状	吹付け																																																																																	
		・ 平たん状	こて																																																																																	
		・ 凹凸状	ローラー																																																																																	
		・ ゆず肌状	吹付け																																																																																	
	・ さざ波状	こて																																																																																		
	・ 着色骨材砂壁状	吹付け																																																																																		
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																		
厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	・ 吹放し	吹付け																																																																																	
		・ 凸部処理	吹付け																																																																																	
		・ 平たん状	こて																																																																																	
		・ 凹凸状	ローラー																																																																																	
		・ ひき起し	ローラー																																																																																	
	・ 搾き落とし	吹付け																																																																																		
	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																	
複層仕上塗材	外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E	・ 吹放し	吹付け																																																																																	
		・ 凸部処理	吹付け																																																																																	
		・ 平たん状	こて																																																																																	
		・ 凹凸状	ローラー																																																																																	
		・ ひき起し	ローラー																																																																																	
	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																	
	・ 複層塗材E	・ ゆず肌状	ローラー																																																																																	
・ 複層塗材EZ	・ 凸部処理	吹付け																																																																																		
・ 防水形複層塗材E	・ 平たん状	こて																																																																																		
・ 防水形複層塗材EZ	・ 凹凸模様	吹付け																																																																																		
・ ()	・ ()	・ ()																																																																																		
可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E	・ 平たん状	ローラー																																																																																	
	・ 可とう形改修塗材EZ	・ さざ波状	ローラー																																																																																	
	・ 可とう形改修塗材E	・ ゆず肌状	吹付け																																																																																	
	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																	
(4.7.2) (図4.7.1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 (kg/m²) ・ マスチック塗材塗り A種 B種 仕上材塗り () 																																																																																			

塗装改修工事	7 1 材料 (7.1.3) (b)	<ul style="list-style-type: none"> 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 次の箇所を既設防火材料とする。(箇所:) 	<p>8の5 耐震改修工事あと施工アンカー工事</p> <p>種類</p> <p>① あと施工アンカーセットの方式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>本体打込み式</th> <th>改良型</th> <th>従来型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>径及び埋込み深さ</td> <td>図示(面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引張耐力</td> <td>図示(面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>せん断耐力</td> <td>図示(面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>接合筋の種類・径・長さ</td> <td>図示(面番号:)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接着系 カブセル型回転 打撃式 有機系 無機系</p> <p>径及び埋込み深さ 図示(面番号:)</p> <p>引張耐力 図示(面番号:)</p> <p>せん断耐力 図示(面番号:)</p> <p>アンカーリングの種類 図示(面番号:)</p> <p>アンカーリングの新設壁内への定着長さ 図示(面番号:)</p> <p>あと施工アンカーの性能確認試験 行う 行わない</p> <p>補強G85鉄筋と溶接接合する。 穿孔 埋込み管等の探査の方法</p> <p>○ 鉄筋埋め戻し(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に突出しを行う。 ・ はつり出しによる。</p> <p>あと施工アンカーの施工確認試験 ○ 実施する 実施しない</p> <p>確認試験方法 ○ 改修標準仕様書(8.12.5)による ()</p> <p>確認強度 ()</p> <p>○ ブロック鉄筋と溶接接合すること</p> <p>場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 金属系あと施工アンカーリングの異形差筋アンカーリング</p> <p>径 [mm] D10</p> <p>長さ [mm] 増打壁厚-40 ()</p> <p>影込み深さ [mm] 5d (d: シアコネクタの径)以上 ()</p> <p>間隔 [mm] 500×500</p> <p>シアコネクタとセバレーターの兼用 兼用してもよい 兼用しない ()</p> <p>※ 空洞プロック16 空洞プロック16-普 (8.2.2) ※ 表 8.3.1 及び下表による (8.3.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>種別の記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 間仕切壁、地下二重壁、外壁、堀</td> <td>図示</td> <td>空洞プロック 16</td> </tr> <tr> <td>・ 設備配管用ブロック積み</td> <td>100</td> <td>空洞プロック 08</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準仕様は、 ○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (社団法人公共建築協会) ○ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ・ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。</p> <p>・ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ 定着長さは設計図書による。</p> <p>外観検査 ○ 有 無 引張試験 有 ○無 超音波深傷試験 有 ○無</p> <p>(1) コンクリート 標準仕様は、 ○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (社団法人公共建築協会) ・ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ○ 耐久設計基準強度 Fd は、 短期 ○ 標準 長期 超長期 ○ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。 ○ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の確認を得ること。必要に応じて試験線を行う。 ○ フレッシュコンクリートの塗化物測定は、原則として工事現場で (財)国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、 試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラーラー)にて報告する。</p>	本体打込み式	改良型	従来型	径及び埋込み深さ	図示(面番号:)		引張耐力	図示(面番号:)		せん断耐力	図示(面番号:)		接合筋の種類・径・長さ	図示(面番号:)		適用箇所	厚さ (mm)	種別の記号	○ 間仕切壁、地下二重壁、外壁、堀	図示	空洞プロック 16	・ 設備配管用ブロック積み	100	空洞プロック 08	<p>○ 調合</p> <p>※土間コン、捨てコン等mSN補正不要部を除く</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>鉄筋コンクリート</th> <th>無筋コンクリート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計基準強度 [N/mm²]</td> <td>24以下</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>単位水量 [kg/m³]</td> <td>185以下</td> <td>185以下</td> </tr> <tr> <td>単位セメント量 [kg/m³]</td> <td>270以上</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水セメント比 [%]</td> <td>A種: 65以下、B種: 60以下</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>空気量 [%]</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>塗化物量 [kg/m³]</td> <td>0.3以下</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>捨てコンクリート FC18N/mm² SL-15 土間コンクリート FC21N/mm² SL-18 基礎コンクリート FC24N/mm² SL-18 上部コンクリート FC24N/mm² SL-18</p>	項目	鉄筋コンクリート	無筋コンクリート	設計基準強度 [N/mm ²]	24以下	18	単位水量 [kg/m ³]	185以下	185以下	単位セメント量 [kg/m ³]	270以上	—	水セメント比 [%]	A種: 65以下、B種: 60以下	—	空気量 [%]	4.5	4.5	塗化物量 [kg/m ³]	0.3以下	—
本体打込み式	改良型	従来型																																															
径及び埋込み深さ	図示(面番号:)																																																
引張耐力	図示(面番号:)																																																
せん断耐力	図示(面番号:)																																																
接合筋の種類・径・長さ	図示(面番号:)																																																
適用箇所	厚さ (mm)	種別の記号																																															
○ 間仕切壁、地下二重壁、外壁、堀	図示	空洞プロック 16																																															
・ 設備配管用ブロック積み	100	空洞プロック 08																																															
項目	鉄筋コンクリート	無筋コンクリート																																															
設計基準強度 [N/mm ²]	24以下	18																																															
単位水量 [kg/m ³]	185以下	185以下																																															
単位セメント量 [kg/m ³]	270以上	—																																															
水セメント比 [%]	A種: 65以下、B種: 60以下	—																																															
空気量 [%]	4.5	4.5																																															
塗化物量 [kg/m ³]	0.3以下	—																																															
塗装改修工事	2 下地調整 (7.2.1～7.2.7) (表7.2.1)～ (表7.2.7)	<ul style="list-style-type: none"> 既存塗膜の除去範囲(塗り替えでRB種の場合) ・ 図示(面番号:) 	<p>8の5 耐震改修工事あと施工アンカー工事</p> <p>種類</p> <p>① あと施工アンカーセットの方式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>本体打込み式</th> <th>改良型</th> <th>従来型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>径及び埋込み深さ</td> <td>図示(面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引張耐力</td> <td>図示(面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>せん断耐力</td> <td>図示(面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>接合筋の種類・径・長さ</td> <td>図示(面番号:)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接着系 カブセル型回転 打撃式 有機系 無機系</p> <p>径及び埋込み深さ 図示(面番号:)</p> <p>引張耐力 図示(面番号:)</p> <p>せん断耐力 図示(面番号:)</p> <p>アンカーリングの種類 図示(面番号:)</p> <p>アンカーリングの新設壁内への定着長さ 図示(面番号:)</p> <p>あと施工アンカーの性能確認試験 行う 行わない</p> <p>補強G85鉄筋と溶接接合する。 穿孔 埋込み管等の探査の方法</p> <p>○ 鉄筋埋め戻し(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に突出しを行う。 ・ はつり出しによる。</p> <p>あと施工アンカーの施工確認試験 ○ 実施する 実施しない</p> <p>確認試験方法 ○ 改修標準仕様書(8.12.5)による ()</p> <p>確認強度 ()</p> <p>○ ブロック鉄筋と溶接接合すること</p> <p>場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 金属系あと施工アンカーリングの異形差筋アンカーリング</p> <p>径 [mm] D10</p> <p>長さ [mm] 増打壁厚-40 ()</p> <p>影込み深さ [mm] 5d (d: シアコネクタの径)以上 ()</p> <p>間隔 [mm] 500×500</p> <p>シアコネクタとセバレーターの兼用 兼用してもよい 兼用しない ()</p> <p>※ 空洞プロック16 空洞プロック16-普 (8.2.2) ※ 表 8.3.1 及び下表による (8.3.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>種別の記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 間仕切壁、地下二重壁、外壁、堀</td> <td>図示</td> <td>空洞プロック 16</td> </tr> <tr> <td>・ 設備配管用ブロック積み</td> <td>100</td> <td>空洞プロック 08</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準仕様は、 ○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (社団法人公共建築協会) ○ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ・ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。</p> <p>・ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ 定着長さは設計図書による。</p> <p>外観検査 ○ 有 無 引張試験 有 ○無 超音波深傷試験 有 ○無</p> <p>(1) コンクリート 標準仕様は、 ○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (社団法人公共建築協会) ・ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ○ 耐久設計基準強度 Fd は、 短期 ○ 標準 長期 超長期 ○ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。 ○ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の確認を得ること。必要に応じて試験線を行う。 ○ フレッシュコンクリートの塗化物測定は、原則として工事現場で (財)国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、 試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラーラー)にて報告する。</p>	本体打込み式	改良型	従来型	径及び埋込み深さ	図示(面番号:)		引張耐力	図示(面番号:)		せん断耐力	図示(面番号:)		接合筋の種類・径・長さ	図示(面番号:)		適用箇所	厚さ (mm)	種別の記号	○ 間仕切壁、地下二重壁、外壁、堀	図示	空洞プロック 16	・ 設備配管用ブロック積み	100	空洞プロック 08																						
本体打込み式	改良型	従来型																																															
径及び埋込み深さ	図示(面番号:)																																																
引張耐力	図示(面番号:)																																																
せん断耐力	図示(面番号:)																																																
接合筋の種類・径・長さ	図示(面番号:)																																																
適用箇所	厚さ (mm)	種別の記号																																															
○ 間仕切壁、地下二重壁、外壁、堀	図示	空洞プロック 16																																															
・ 設備配管用ブロック積み	100	空洞プロック 08																																															

特記		工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事				承認	管理建築士	印
		固名	(三訪小学校) 特記仕様書3	縮尺	N.S.				

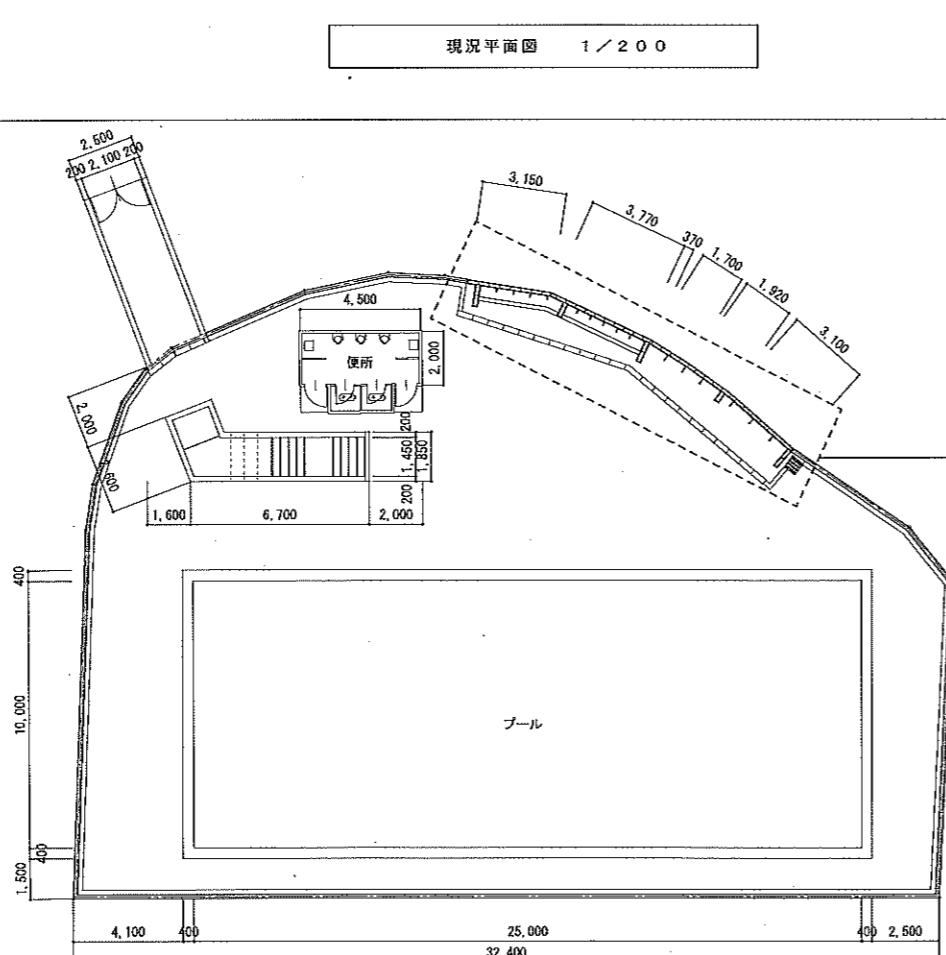


特記	工事名	基準		管理建築士	印
		規格	箇面番号		
	中瀬小学校他2校プール施設改修工事	規格 1/400 (A 2) 1/564 (A 3)	箇面番号 A - 0 4		
	(三訪小学校) 配置図 兼 仮設計画図・付近見取図			図面提出日	



撤去概要

- 改修範囲内の既存ブロック塀の撤去。
- シャワー・手洗い・眼洗いの撤去。
- 控え壁の新設に伴う土間コンクリートの撤去。



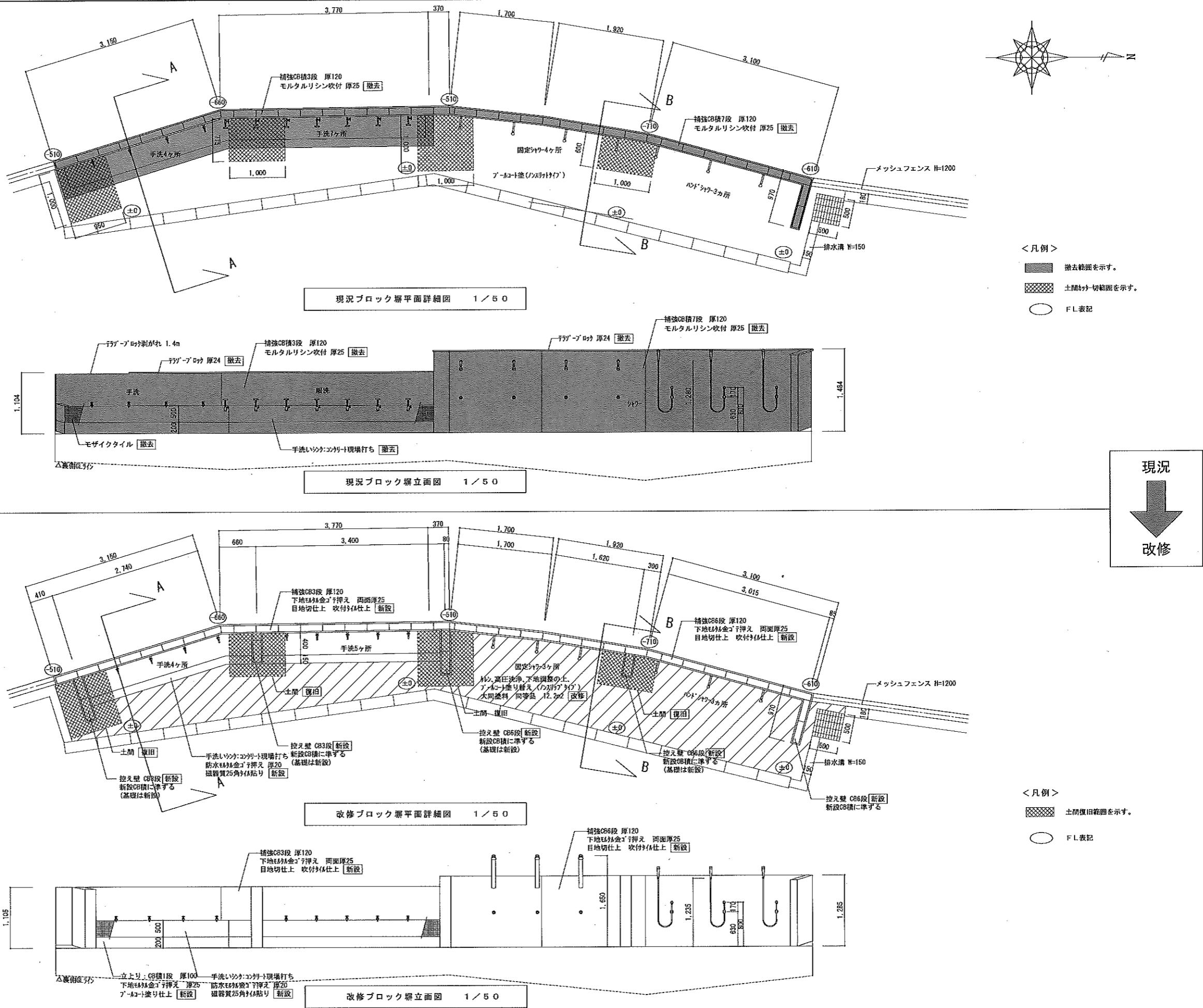
改修概要

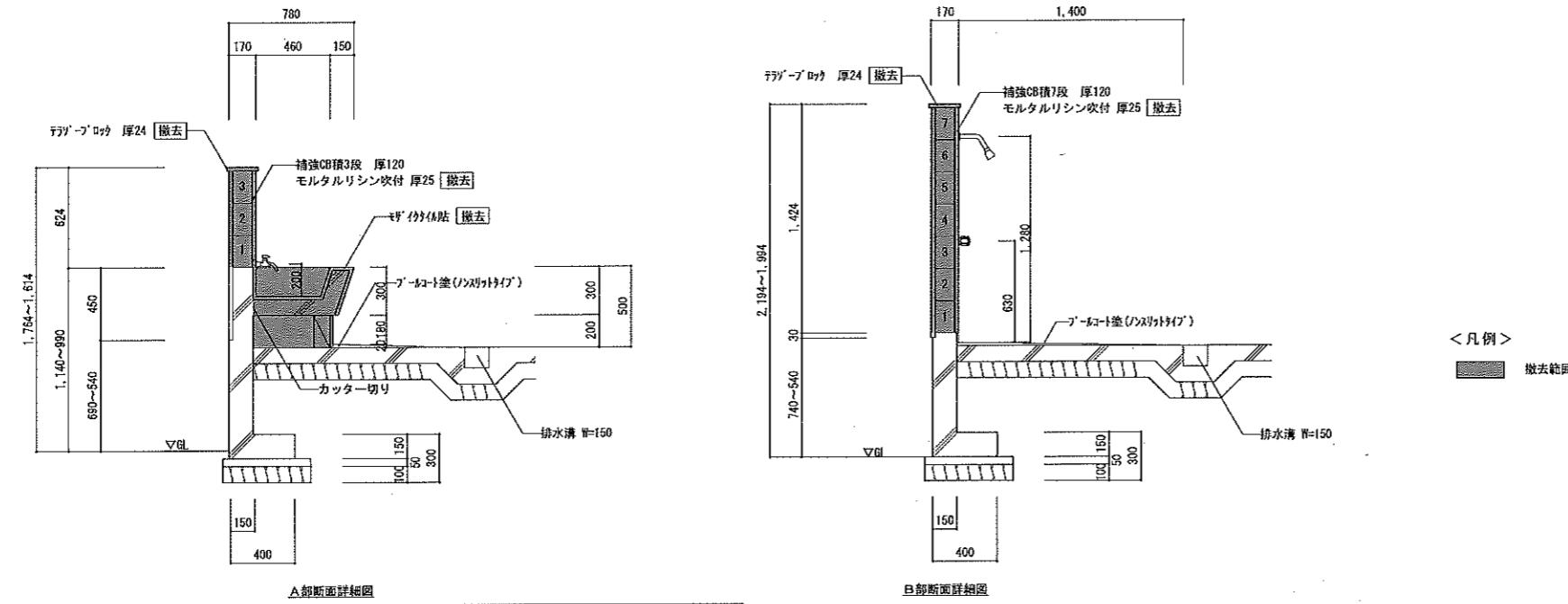
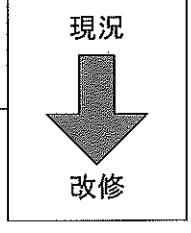
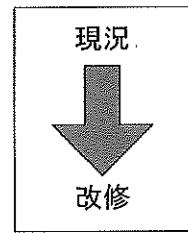
- 改修範囲内の既存ブロック塀の新設
- シャワー・手洗いの新設。
- 控え壁の新設と、それに伴う土間コンクリートの復旧。

現況
↓
改修

現況
↓
改修

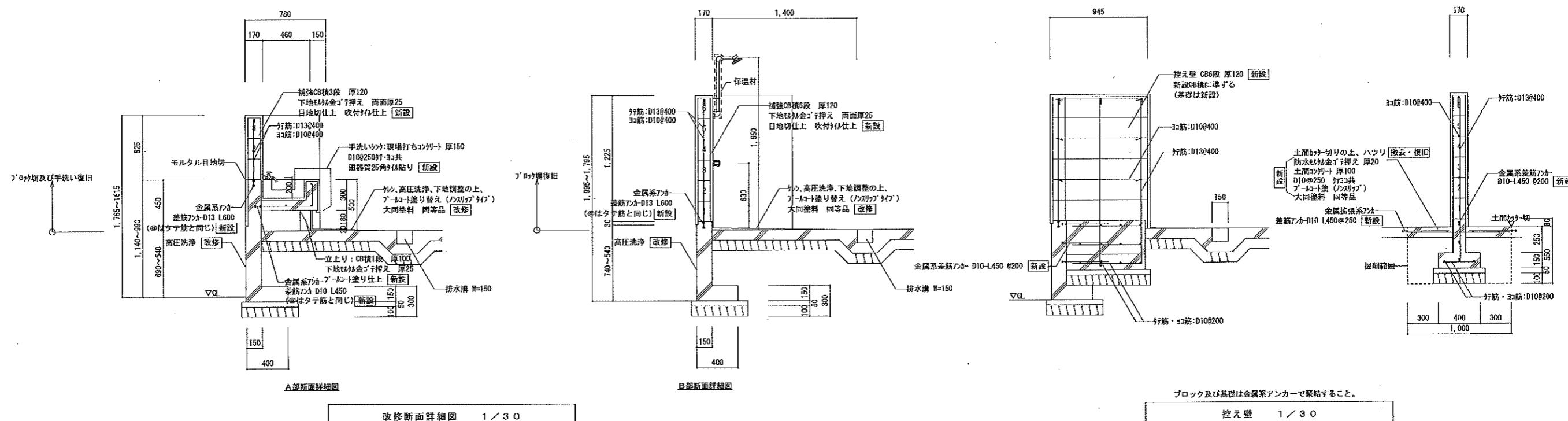
特記	工事名	承認			管理建築士	印
		図名	規格	図面番号		
	中瀬小学校他2校プール施設改修工事	(三訪小学校) 平面図	1/200 (A2) 1/282 (A3)	A-05		





現況
改修

現況
↓
改修



特記	※金属擴張系

管理建築士印

差筋TカとCB積の縫合は溶接接合すること	工事名 中瀬小学校他2校プール施設改修工事
箇名 (三訪小学校) 断面詳細図	倍尺 1/30 (A2) 1/42 (A3) 図面番号 A-07

機械設備工事特記仕様		(○印を付けたものを適用する。)		工事写真		排水設備		機器設備	
建築概要				工事写真の掲載方／諸条件、及び同／建設設備（機設大臣官房官房部長様式）に従い撮影する。		○ 排水方式 屋内 分流方式・合流方式		・ 設計空気条件 外気 夏季 °C % 冬季 °C %	
工事名称 中瀬小学校2校舎改修工事				電子納品とし、次のものを提出する。		屋外 ○ 分流方式・合流方式		室 内 夏季 26°C % 冬季 22°C %	
工事場所 伊賀市三田 地内				○ 雨水 ○ 分流方式・合流方式		・ 一般系統の湿度は実行とする。		・ 熱源機器 混温水発生機 チラー (室内HP・空冷・水冷HP・水冷)	
施設名 称 三校小学校				○ 汚水 下水管・浄化槽・合併処理槽・既設樹木排水管		・ 混温水ライナ・蓄熱器 空冷ヒートパッケージ・ガスHPパッケージ・FCU・AHU		・ 放流先 污水・下水管・合併処理槽・倒溝又は河川・既設樹木排水管	
				○ 雨水 下水管・合併処理槽・倒溝又は河川・既設樹木排水管		・ その他の機器		・ その他	
完成写真									
一般事項				デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。		○ 排水方式 屋内 分流方式・合流方式		・ 設計空気条件 外気 夏季 °C % 冬季 °C %	
適用仕様書				・日本建築家協会編「建築設備工事共通仕様書」		屋外 ○ 分流方式・合流方式		室 内 夏季 26°C % 冬季 22°C %	
				・空調機・衛生工学会規格「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」		・ 一般系統の湿度は実行とする。		・ 熱源機器 混温水発生機 チラー (室内HP・空冷・水冷HP・水冷)	
				○ 国土交通大臣官房官房部監修「機械設備工事共通仕様書」平成28年度版		・ 放流先 污水・下水管・浄化槽・合併処理槽・既設樹木排水管		・ 混温水ライナ・蓄熱器 空冷ヒートパッケージ・ガスHPパッケージ・FCU・AHU	
優先順位				1. 現場説明事項、質疑応答書		・ その他の機器		・ その他	
				2. 本特記仕様書					
				3. 設計図書					
				4. 工事共通仕様書					
申請手続				工事に伴う関係官署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。		○ 排水方式 屋内 分流方式・合流方式		・ 設計空気条件 外気 夏季 °C % 冬季 °C %	
				施工条件		屋外 ○ 分流方式・合流方式		室 内 夏季 26°C % 冬季 22°C %	
採用				○ 下記で指定するもの以外は監督員と協議して決定する。		・ 放流先 污水・下水管・浄化槽・合併処理槽		・ 一般系統の湿度は実行とする。	
				○ 施工可能日 ○ (指定あり) (学校との協議により決定)		・ 配管材 料 ○ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ 熱源機器 混温水発生機 チラー (室内HP・空冷・水冷HP・水冷)	
				○ 施工可能時間 ○ (指定あり) (学校との協議により決定)		・ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ 混温水ライナ・蓄熱器 空冷ヒートパッケージ・ガスHPパッケージ・FCU・AHU	
完成図書				完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に委譲するものとする。		・ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ その他の機器	
				施工条件					
採用				○ 下記で指定するもの以外は監督員と協議して決定する。		○ 配管方式 屋内 分流方式・合流方式		・ 設計空気条件 外気 夏季 °C % 冬季 °C %	
				○ 施工可能日 ○ (指定あり) (学校との協議により決定)		屋外 ○ 分流方式・合流方式		室 内 夏季 26°C % 冬季 22°C %	
				○ 施工可能時間 ○ (指定あり) (学校との協議により決定)		・ 放流先 污水・下水管・浄化槽・合併処理槽		・ 一般系統の湿度は実行とする。	
完成図書				完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に委譲するものとする。		・ 配管材 料 ○ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ 熱源機器 混温水発生機 チラー (室内HP・空冷・水冷HP・水冷)	
				施工条件		・ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ 混温水ライナ・蓄熱器 空冷ヒートパッケージ・ガスHPパッケージ・FCU・AHU	
採用				○ 下記で指定するもの以外は監督員と協議して決定する。		・ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ その他の機器	
				○ 施工可能日 ○ (指定あり) (学校との協議により決定)					
				○ 施工可能時間 ○ (指定あり) (学校との協議により決定)		○ 配管方式 屋内 分流方式・合流方式		・ 設計空気条件 外気 夏季 °C % 冬季 °C %	
完成図書				完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に委譲するものとする。		屋外 ○ 分流方式・合流方式		室 内 夏季 26°C % 冬季 22°C %	
				施工条件		・ 放流先 污水・下水管・浄化槽・合併処理槽		・ 一般系統の湿度は実行とする。	
採用				○ 下記で指定するもの以外は監督員と協議して決定する。		・ 配管材 料 ○ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ 熱源機器 混温水発生機 チラー (室内HP・空冷・水冷HP・水冷)	
				○ 施工可能日 ○ (指定あり) (学校との協議により決定)		・ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ 混温水ライナ・蓄熱器 空冷ヒートパッケージ・ガスHPパッケージ・FCU・AHU	
完成図書				完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に委譲するものとする。		・ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ その他の機器	
				施工条件					
採用				○ 下記で指定するもの以外は監督員と協議して決定する。		○ 配管方式 屋内 分流方式・合流方式		・ 設計空気条件 外気 夏季 °C % 冬季 °C %	
				○ 施工可能日 ○ (指定あり) (学校との協議により決定)		屋外 ○ 分流方式・合流方式		室 内 夏季 26°C % 冬季 22°C %	
完成図書				完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に委譲するものとする。		・ 放流先 污水・下水管・浄化槽・合併処理槽		・ 一般系統の湿度は実行とする。	
				施工条件		・ 配管材 料 ○ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ 熱源機器 混温水発生機 チラー (室内HP・空冷・水冷HP・水冷)	
採用				○ 下記で指定するもの以外は監督員と協議して決定する。		・ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ 混温水ライナ・蓄熱器 空冷ヒートパッケージ・ガスHPパッケージ・FCU・AHU	
				○ 施工可能日 ○ (指定あり) (学校との協議により決定)		・ 鋼管用炭素鋼管 (白) 機械用鋼管		・ その他の機器	
完成図書				完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に委譲するものとする。					
				施工条件		○ 配管方式 屋内 分流方式・合流方式		・ 設計空気条件 外気 夏季 °	

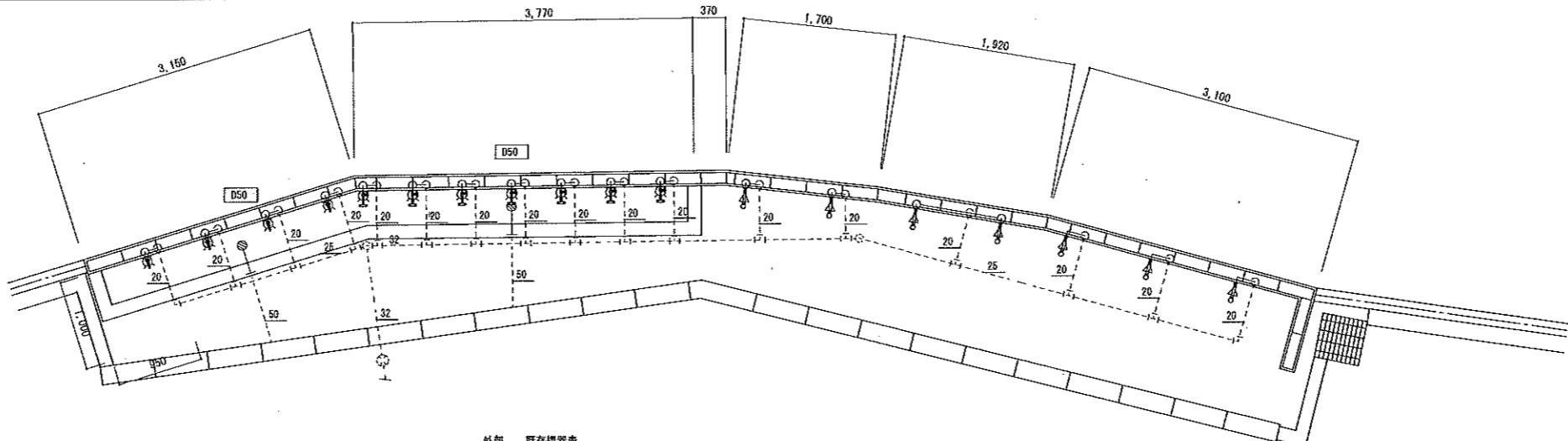
圖示記号	
記号	名称
— — — — —	給水管
— — — — —	排水管
◎	給水栓
△ □ ⊗	弁類
⊕	床上掃除口
◎	排水金物

衛生器具表				
名 称	品 番	附 屬 品	本数	合計
横水栓	LF-7R-13	吐水口回転形	9	9
固定シャワー	BF-4R	BF-2S-13(埋込形止水栓)	3	3
ハンドシャワー	BF-S06A	BF-2S-13(埋込形止水栓), BF-30R(フックx2ヶ)	3	3

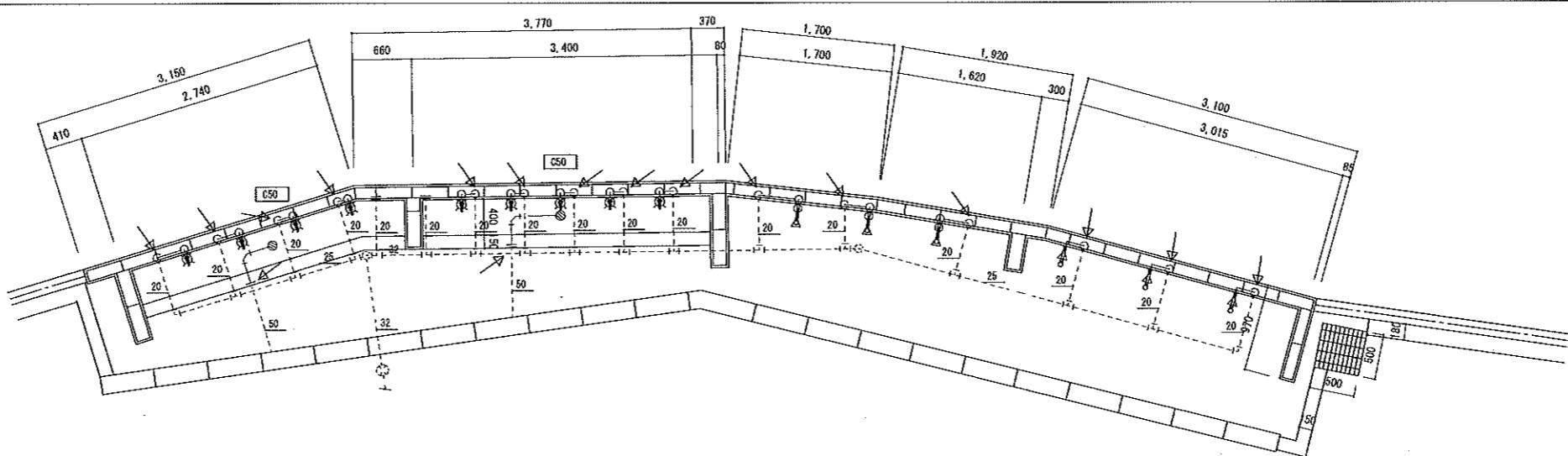
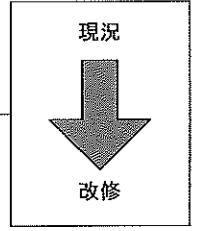
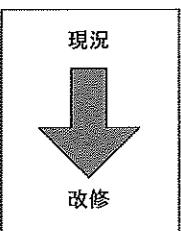
特記	工事名	中瀬小学校他2校プール施設改修工事			系認	管理建築士	印
	図名	(三訪小学校) 図示記号・衛生器具表	格尺	N S			
	図面提出日						

凡例	
――――――	今回撤去箇所を示す
- - - - -	既存箇所を示す

(注記)既設配管サイズ、ルートは参考とする。
既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
(既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。



現況ブロック塀平面詳細図 1 / 50



改修プロック塀平面詳細図

1 / 50

凡例	
-----	今回改修箇所を示す
-----	既存箇所を示す
↗	既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
土間及びブロック復旧は建築工事とする。